

令和元年度

全国消防団員意見発表会、
消防団等地域活動表彰式及び
消防庁消防団協力事業所表示証交付式



目次

主催者挨拶	1
令和元年度 全国消防団員意見発表会	3
意見発表	5
審査員紹介	20
審査員講評	21
令和元年度 表彰式等	27
来賓祝辞	28
消防団等地域活動表彰(消防団表彰)	30
消防団等地域活動表彰(事業所表彰)	31
消防庁消防団協力事業所表示証交付	32
受賞者代表謝辞	34
令和元年度 消防団等地域活動表彰受賞団体	35
消防団表彰	36
事業所表彰	49
令和元年度 消防庁消防団協力事業所表示証交付団体	57



主催者挨拶

日程 令和元年12月20日(金)

会場 中央合同庁舎第2号館 地下2階講堂

主催者挨拶

消防庁長官 林崎 理



「令和元年度全国消防団員意見発表会、消防団等地域活動表彰式及び消防庁消防団協力事業所表示証交付式」の開会に当たり、一言、ご挨拶申し上げます。

皆様方におかれましては、お忙しいところ、全国各地からお集まりいただき、誠にありがとうございます。また、日頃から、消防防災行政の推進にご理解とご協力をいただき、重ねて感謝申し上げます。

さて、今年も、10月の台風第19号をはじめ大きな風水害や地震、火災などが頻発しています。

亡くなられた方々のご冥福をお祈りするとともに、被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。

これらの災害現場において、消防団員の皆様には、いち早く現場に駆け付け、住民の安否確認や救助をはじめ、避難所支援や地域の巡回など、昼夜を分かたず、懸命に活動していただきました。皆様のご活躍に改めて敬意を表しますとともに、感謝申し上げます。

現在、消防団員に占める被雇用者の割合が7割を超えております。このような中、消防団が継続的に地域防災力の中核的な役割を果たしていくためには、事業所の皆様の消防団活動に対するご理解とご協力

が欠かせません。

消防団員の確保をはじめ、地域防災力の充実強化に多大なご貢献をいただいている事業所の皆様に対し、改めて厚く御礼申し上げます。

消防庁といたしましては、消防団の充実強化に向け、基本団員はもとより、女性団員や学生団員、機能別団員の加入促進による消防団員の確保、装備の充実、処遇の改善など、精一杯努力してまいります。

本日閣議決定された来年度予算政府案においても、消防団の充実強化に向けた新規事業等を盛り込んだところです。

本日は、表彰式に先立ち、全国から選ばれた11名の消防団員による意見発表会を行います。発表者の皆様は緊張もあると思いますが、この発表の場を楽しむ気持ちで臨んでいただきたいと思います。

結びに、本日で参加の皆様のご健勝とご多幸を祈念いたしまして、挨拶といたします。

令和元年12月20日
消防庁長官 林崎 理

令和元年度
全国消防団員意見発表会

日程 令和元年12月20日(金)

会場 中央合同庁舎第2号館 地下2階講堂



令和元年度 全国消防団員意見発表会



最優秀賞及び優秀賞を除き発表順、敬称略

賞	都道府県	所属消防団	発表者	発表演題
最優秀賞	高知県	高幡消防組合須崎消防団	中川 秀兵	意識を変える、イメージを変える
優秀賞	鳥取県	鳥取市消防団	安達 由紀	父と母の背を追いかけて
優秀賞	富山県	高岡市消防団	渋谷 章弘	続けます、消防団を知ってもらう努力
優良賞	岩手県	盛岡市消防団	藤原 神奈	夫の誇り
優良賞	宮城県	大崎市消防団	野徳 貴子	守りたい大崎
優良賞	山形県	舟形町消防団	野尻 和彦	訓練なしでは…
優良賞	茨城県	北茨城市消防団	佐藤 睦美	防災教室での取り組み
優良賞	京都府	舞鶴市西消防団	柴田 久史	「消防団員」でよかった。
優良賞	兵庫県	尼崎市消防団	清水 亜由美	団活！～多様なライフスタイルを活かして
優良賞	佐賀県	佐賀市消防団	江口 悦子	平成30年7月豪雨から見てきた女性消防団員の役割
優良賞	長崎県	大村市消防団	福井 由美子	消防団と自衛隊と地域防災について



〈全国消防団員意見発表会〉

意識を変える、イメージを変える

高知県 高幡消防組合須崎消防団
中川 秀兵



私の入団のきっかけは、「災害弱者の支えになりたい」と思ったからです。

私の身体には、ペースメーカーが入っています。

このままでは生きられないと医師から宣告され、20歳の時に、ペースメーカーを入れました。

当時は、落ち込む毎日。

そんな中、家族、友人、たくさんの人に助けられました。

そこで、強く思ったこと、「私も人の支えになりたい」

その手段として、職業は看護師、地元では消防団に入団することを決めました。

入団してから、すごく驚いたことがあります。

それは、消防団員は、「24時間365日、注目されている」ということ。

私は、この活動服を着ている時だけが、消防団員だと思っていました。

しかし、近所の子どもたちは、私のことを「結太くんのお父さん」と呼んでいたのに「消防のおじちゃん」と呼ぶようになりました。

職場の病院でも、患者さんたちが「看護師さん」で

はなく、「消防のおにいちゃん」と呼ぶようになりました。

全国で大きな災害が起こり、その度に、消防団の活躍がマスメディアに取り上げられるようになったため、周囲の目が変わってきたからだと思います。

これは、とてもうれしいことです。

しかし、消防団員は減少傾向。

災害時に一番必要なのは、マンパワー、消防団員の力です。

団員確保のため、学校での訓練、イベント参加、消防団のPRは、ずっとやっています。

なのに、なぜ、消防団員が減っていくのか。

全国で災害が起こる度、人の役に立ちたいと、多くのボランティアが集まるのに、なぜ、消防団員は増えないのか。

もちろん、人口減少もありますが、消防団に対する昔からのイメージが関係しているのではないのでしょうか。

正直、私の入団前のイメージも、「時代遅れのおっちゃん集団」

私の同級生も、いまだに、そういいます。

とても悔しいです。

非常勤の消防団員が、そこまで考えなくていいと思われるかもしれませんが、マスメディアに取り上げられ、「消防団員」という看板が大きくなっている今、この流れにうまく乗り、イメージを払拭しなければならないのではないのでしょうか。

消防団には、いざという時に男気を見せる団員、細かい事までフォローする女性団員、見た目では分からないカッコよさを持っている人がたくさんいます。

悪いことではなく、そういった良いイメージが

もっと前に出るよう、現役の私たちは、今一度、意識していかないといけないと思います。

社会のルール、守れていますか？

子どもたちに誇れる大人でいますか？

消防団活動している時だけが、消防団員ではありません。

「親が消防団員だったから」という入団理由ではなく、「あの大人の集団、カッコいいから、自分も入団する」と言われるように、消防団のイメージが変わればいいなと思います。



父と母の背を追いかけて

鳥取県 鳥取市消防団
安達 由紀



「由紀、女性消防団に入らん？」母からの誘い。

「いいよ」一言返事で入団した私。

保育士という職業柄、子供たちへの防火啓発活動の話にも興味あり、親子そろっての鳥取市消防団女性分団としての活動がスタートしました。

また、父は鳥取市消防団青谷地区団の一員として、火災や風水害がある度にすっ飛んでいく「地域守る」消防団員として活動していました。

まさに家族そろっての消防団一家となりました。

そんな消防団活動の中でも特に印象に残っているのは…。6年前の「第21回全国女性消防操法大会」、選手として待機線に立っていた私たちに「集まれ」の号令をかけていた指揮者としての母の姿でした。

大会出場が決まってからの2年間。母と一緒に家の中で幾度となく繰り返した集まれの練習。その度にダダダッ!と安達家を襲った地響き。その姿を文句一つ言わず、いつも嬉しそうに見守ってくれている祖母の笑顔。

「後で悔いが残るようなことはするな」と、何度も口にただけで何も言わず、練習に快く協力してくれた父。

そんな家族に幾度となく勇気づけられていました。

本気で向かい合った操法訓練。同じ選手として母とは意見の食い違うことも多々あり、帰りの車の中では長い時間無言であることも少なくありませんでした。

お互い一つの目標に向かって進んだ2年間。親子だからこそ「本気でぶつかり」「助け合い」一生に一度かもしれない貴重な経験が、家族の絆をさらに強めたと少し幸せに感じたことは、今でもはっきりと心に残っています。

仲間たちとの団結と多くの人の支えもあり、大会結果は47隊中「第7位」。優良賞を勝ちとることができました。3番員として優秀選手賞も目標の一つとして頑張っていました。が、残念ながらとることはできず…「日本一になるためには、日本一の練習を!」をモットーにしていた母は、指揮者として優秀選手賞を受賞することができました。

やっぱり母は強かったです。

幼いころから見ていた父の消防団としての雄姿、改めて感じた母の強い姿、いつも暖かく見守ってくれる祖母…家族の偉大さと強さを感じ、尊敬とともに自慢の家族と改めて感じることができました。

また家族だけではなく、苦楽を共にしてきた仲間との絆がより強くなったことは言うまでもありません。

そんな環境が、私を大きくそして強く成長させてくれている…なかなかうまく言葉には表せませんが、見習うべき背中が私の周りには、多くあります。

そんな中で私には何ができるのか？

女性ならではの視点による啓発活動だけではなく、火災現場への出動、災害現場での救助活動、「女性団員として」多くの訓練に積極的に参加し、現場

でも活動できる。

そんな女性団員を模索していきたいと考えています。

消防団120年・自治体消防65周年記念大会で「家族で活動が続けてきた証」として頂いた「消防団員家族表彰」、表彰状を今日も見つめながら、黙々と消防団活動が続ける父と母の背中を追い、いつかは二人を追い越せる日を目指し、「私の町を私が守る」を信条として一步一步あゆむことが、私を育ててくれた父と母、そしてここまで大きく育てくれた愛する郷土への最大の恩返しになると考えています。

お父さん、お母さん、これからも地域と一緒に守っていきましょうね。



続けます、消防団を知ってもらう努力

富山県 高岡市消防団
渋谷 章弘



「地域のために何かできないだろうか？仕事以外に自分の力を役立たせることができる場はないだろうか？」仕事にも慣れたころ、私は、仕事だけの生活に物足りなさを感じていました。そんな時、日頃から大変お世話になっている、近所に住んでおられる分団長から地元消防団への入団の誘いがあり、防火・防災に関心のあった私は、家族の理解を得て消防団への入団を決めました。

入団してからは、火災防ぎょ訓練や防火広報、小学校での防火講習、火災現場での活動など様々な活動に従事しました。入団当初は全てが新鮮で先輩団員の指導の下、目の前の仕事をこなしていくことに精一杯でした。しかし、数年がたち余裕が出てくると 私が入団してから新たに入団してくる団員が少なく、自分たちの分団が決められている定員を遥かに下回っていることに気づいたのです。

現場活動はもちろんこと、火災予防活動も少数の団員では満足な活動できません。このままの状況が続くと消防団の存続の危機にもつながると考えた、私たちの分団は、まず、マンパワーを確保するために、積極的に団員募集を行うことにしました。

最初に行ったことは、地域の繋がりを利用して個別に御宅を訪問し、入団を依頼することでした。私は、何件かお願いをすれば、2、3名はすぐに何とかなるだろうと安易に考えていましたが、実際は本人が入団に前向きであっても家族に反対をされたり、消防団がどんな活動をしているか理解されず、入団にはなかなかつながりませんでした。また、私たちが消防団員だという事も知られておらず、入団の依頼に行って初めて「この地域にも消防団があったんだ」といわれたこともあり、地域の消防団に対する認知度の低さを目の当たりにしました。

そこで私たちは、地域の方に消防団をもっと身近に感じてもらうため、消防団活動をPRすることとしました。これまで以上に行事や巡回に力を入れ取組むとともに、新たな活動として消防団を紹介するための広報紙を作成し、定期的に管轄地域に配布するのです。広報紙の内容は分団員がそれぞれ考え、定例日に持ち寄り全員で記事を推敲しました。また、身近な消防団と感じてもらえるよう題字以外はすべて団員の手作りとしました。

このような広報紙を何度か配布したところ、近所の方から「消防団は、火事の時しか活動してないと思っていたけど、地域のために色々してくれていたんだね」や「消防団を身近に感じたよ。自分も消防団員として活動してみたい」という言葉をかけてもらえるようになり、入団希望者も少しずつではありますが増加していきました。

私たち消防団は、災害現場で活動していれば何も言わなくても住民は消防団活動を理解してくれると考えがちですが、今回の広報紙を通じて自分たちから情報発信することにより、住民に寄り添っていくことが住民からの理解、支持を得られると

気づきました。

昨今、各地域で高齢者が増える中、豪雨や台風、大雪などの災害はいつ、どこで、どのような規模で発生するか分かりません。もしもの非常時は地域のみんなで地域を守らなければなりません。そのようなときに、地域の防災リーダーである消防団員が不足しては、その地域の力を最大限に発揮できません。

ですから、地域を安全に守り続けるという高い気概を持って、地域の防災力を高める必要があります。広報活動の効果の発現には時間を要するかもしれませんが、この先も頼りにされる消防団を目指すとともに、消防団を知ってもらう努力を続けていきます。



夫の誇り

岩手県 盛岡市消防団
藤原 神奈



私は、夫の身代わりで消防団に入団しました。

聞こえは悪いかもしれませんが、夫は土日もないサービス業ですし、何より極度の人見知りなので、「それなら、お嫁さんでもいいんだよ。」という当時の分団長の誘いに、私が応えたのでした。

頼まれれば嫌とは言えない性格の私は、入団して初めて、分団に私以外の女性がないことを知りましたが、活動を続けていくうちに、「私でも役に立てることがある!」ということがわかり、積極的に活動に参加するようになりました。

夫は、そんな私の消防団活動を決して反対はしませんでした。「頑張れ」と応援することもありませんでした。

男性の中に女性がひとり。消防団員だからといって、火災現場で足手まといになるんじゃないか。水利点検や火災予防広報で、そこまで頑張らなくていいんじゃないか。

そう思われているような気がして、こっそり活動に行くこともありました。

「内心、面白くないのかな…。」

夫の本音を聞きたいような、聞きたくないような。なんとも言えない気持ちでした。

そんなある日、地元で大きな火災が発生しました。家族で団欒を過ごしていた私は、瞬時に活動モードに切り替えて、炊き出しの準備に取り掛かりました。

家族との時間を大切にしている夫に後ろめたさを感じながらも、黙々と作業を続けていると、突然、夫が思いがけない言葉を言ったのです。

「大変だな、俺も手伝おうか。」と。

そして、それまで地域活動の全てを私に任せっきりだった夫が、仕事で疲れているにも関わらず、炊き出しの作業を細やかに手伝ってくれたのです。

夫は、私の消防団活動を認めたくないのかもしれない…。

ずっと私の胸に引っかかっていた、そんな思いを払拭した夫からの言葉は、とても嬉しく、温かく、優しい労いの言葉に聞こえました。そしてまた、消防団員の私を深く理解してくれていたことに気付いたのです。

それから月日が流れ、夫の母が病で亡くなった時のことです。

葬儀には、消防団の半纏を着た多くの仲間たちが参列し、母を弔い、見送ってくれました。

その光景に夫は、消防団員の私が自分の代わりに社会貢献してくれていることを亡くなった両親の墓前に報告できたと喜び、そして「お前が誇りだ。」と感謝の気持ちを言ってくれたのです。

いいえ違います。感謝しているのは、私の方なのです。

夫の身代わりで始めた消防団ですが、今まで続けてこられたのは、活動を深く理解し、送り出し、応援してくれている夫のおかげなのです。

自分の身代わりと言うけれど、消防団員の私を通して、その活動を知り、自分も関わることで、実は夫も間接的に社会貢献しているのではないのでしょうか。

私一人が消防団員なのではありません。

夫と二人三脚で消防団員なのです。

私を誇りに思ってくれる夫のためにも、私はこれからも夫と住むこの地域の安心安全を全力で守り、全力で消防団活動を全うしていきます。

そして、そんな私を温かく支えてくれている夫を、私も心から誇りに思っています。

パパ、これからもよろしくね。

守りたい大崎

宮城県 大崎市消防団
野徳 貴子



私が生まれ育った大崎市は、東西に80Kmの長さを持ち豊かな水質源に恵まれ、西部には名湯鳴子温泉、東部の田尻地域にはラムサール条約湿地に登録された国内有数の渡り鳥の楽園、蕪栗沼があります。2017年に持続可能な水田農業を支える大崎耕土の伝統的な水管理システムが世界農業遺産に認定された、豊かな自然、おいしい農産物を誇りに守られてきた自慢の故郷です。

伝統を守り伝えてきた住民の地域愛に溢れ維持されてきた街並みは、幾度もの災害で大きな被害を受けてきました。2011年の東日本大震災では、地震の破壊による被害としては内陸部最大規模となり、尊い命も失われました。

また、2015年、関東東北豪雨により市内を流れる河川の堤防が決壊し、広範囲にわたる水害、そして、10月に発生した台風19号でも、大規模な浸水被害に見まわれました。

防災無線の響く中、緊急速報メールが何度も通知される中で、みなさんそれぞれに守りたい思いで、育った土地、愛する人達、きっと思い浮かべたものがあつたのではありませんか？

私は今回の台風19号が去った後、そんな思いを実感させられた出来事がありました。消防団の友人宅の復旧作業に向かいました。大崎市の中で最も住宅被害が甚大であった地域です。一階の天井近くまで水に浸かったと思われるその家に入り、まず言葉が出ませんでした。目の前にある昨日までの生活と、大切に守ってきた思い出が全て泥にうまる光景に、ただ涙が溢れ力が抜けてしまいました。ほとんどの家財道具や衣服を廃棄していく作業の中で、一切汚れがなく綺麗な状態で女性分団の集合写真が出てきたのです。その写真は、彼女が日頃消防団員として誇り

を持って活動していることが窺えるもので、私はこの作業の先にある希望を垣間見て力が湧いてきました。そして考えました。今私たちは何ができるのか？何をすべきなのか？自分自身に問いました。

私たち大崎市消防団は7支団で57分団2200人を超える県内最大の消防団組織です。過去の水害等大規模な災害を乗り越えた経験と、日頃の訓練での技術向上、そして受け継がれてきた郷土愛に満ちた消防団魂は、先輩方に伝え続けていただいた大切な地域の財産です。

私は仕事で児童館の職員として地域の子供達と日々関わっています。高校生となった娘を通じて、学校のPTA活動に携わる中で、今後の地域防災の課題も見えてきました。これからも私たちの愛する故郷は幾度となく災害に見舞われるかもしれませんが。減災、防災の意識を高める。消防団員だけでなく、いかに市民全体で取り組んでいけるかが今後の地域防災力を向上する要となるでしょう。

元号が変わり令和となりましたが、地域を愛する気持ちの本質は変わることはありません。男女共同参画がすすみ多様化する社会の中で、地域を守る、家族を守る、そのために何をすべきなのか？一人一人が一つ一つ、問いては応える、それは小さなことですが、大きなうねりとなって愛する人、愛する故郷を守る力に育ちます。年代、性別、地域、職業の隔たりなく共に伝え合う時ではないでしょうか。この地域で暮らす全員が【一人一人が守り合う力をもった地域への成長】を目指し、手を携えていきましょう。

私も微力ながら消防団員として、安全・安心な街づくりへの案内を心がけています。

さて、目をとじて、自分自身に問いてください。あなたの守りたいものはなんですか？

訓練なしでは…

山形県 舟形町消防団
野尻 和彦

「もしもし。どうした？」

激しい雨に声がかき消される中、近所の住民から電話がかかってきた。

「水路が氾濫して家に濁流が流れ込んできているところがある。役場にはなかなか電話がつながらなくて、お前に連絡したんだ。」

私が住む山形県舟形町は、地域のつながりがとても強く、何か困った時があったら助け合う風土が自慢です。特に、消防団員と地域の結びつきが日頃から顕著であると感じています。

そのような舟形町ですが、平成30年8月5日～6日、30日～31日、と一月に二度にわたる豪雨災害を受けました。

特に8月5日から6日にかけては、真夜中から明け方にかけて激しい雨を観測しており、町内全域で、河川からだけではなく山から次々と水が流れ込んでくるという状況は、消防人生約30年の中でも初めての経験でした。

逆に、二度目の豪雨では一級河川の氾濫が大きな被害をもたらしました。

住宅や道路への浸水のほか、流木で孤立した住民もいましたが、消防団員それぞれが、地域の被災状況に応じて迅速な活動を行なったことにより、幸いにも人的被害はありませんでした。

地域を守るために、私たち消防団は日頃から様々な知識の習得や訓練を行なっています。小型ポンプや水中ポンプの操作方法、土のう等を利用した水防工法や救急救命の訓練などを主に行なっているほか、地域の危険と思われる箇所を巡回して確認しています。

訓練を続けてきて本当に良かった、それが活かされたと実感したのが今回の豪雨災害での活動でした。突然の災害が起こった時に自然と体が動くためには、訓練をしていないと難しいものです。特に、真夜中であつ豪雨の中の活動は、日中と違い視界が制限されていたり、大きな雨音でお互いの声が聞こえないという状況であり、それぞれの団員が迅速に動くためには、訓練こそが重要であると捉えています。

私たちが災害当初に行なった活動は大きく分けて3つあります。それは、水害への対応、一人暮らしの高齢者の安否確認と土砂災

害等の状況確認、災害発生後の復旧作業です。

まず、水害への対応ですが、既に発生している状況であり、他の活動より優先して、住宅に浸水しないようにまたはこれ以上被害が拡大しないよう、真夜中から明け方にかけて土のう積みなどを行いました。

続いて、一人暮らしの高齢者の安否確認ですが、具体的には避難所へ避難している方を確認し、まだ避難していないお年寄りの住宅を一軒一軒、消防団と自主防災組織が連携して訪問し、避難を呼びかけるというものです。併せて、地域全体の土砂災害等の状況を巡回して確認するのですが、危険な箇所があれば、通行止とするか現場の状況を都度報告しておりました。

そのような中で得た教訓があります。それは、決して二次災害を起こさないということです。

活動中、山がミシミシと音を立て始めた瞬間がありました。活動時には常に退路を確保するよう訓練してきましたが、実際に山が崩れる場に遭遇するのはめったにないことです。危険性を皆で伝えあい避難しましたが、消防団として災害時に人命を守るという思いが強くある中、自分たちの命をまず守ることの大切さを痛切に感じました。

今回の災害では、自助・共助・公助を強く実感しています。今後同様に災害が発生するような事態のために、防災士の取得や、よりスムーズな事前準備方法を検討し訓練する、土砂災害や氾濫の危険性の高い箇所を伝えていくなど、私たちの経験や知識を地域や行政に継承していきたいと考えています。

昨年度末、町では、総務省から救助資機材搭載型消防ポンプ自動車を配備していただいております。このことは、私たち舟形町消防団の活動の幅を広げ、何らかの救命救助活動に携わることができるようになりました。

消防団として、今後も地域を守っていくには、やはり訓練が必要です。昨年の災害や昨今の災害を検証し、災害が発生しても人命救助・救急活動を迅速に行えるよう、これからも訓練を続けていきます。

防災教室での取り組み

茨城県 北茨城市消防団
佐藤 睦美



茨城県北茨城市消防団本部分団分団長を務めます佐藤睦美と申します。どうぞ宜しくお願い致します。活動発表の前に分団紹介を簡単にさせていただきます。

私達は2008年10月に発足し、今年で11年目を迎えました。2011年には東日本大震災により被災した中ではありましたが全国女性消防操法大会へも出場致しました。発足当時は40名を超える団員にて結成致しましたが、結婚、出産、育児、介護などの理由により退団する方も増え、現在は29名体制で消防団活動に取り組んでおります。消防事業の後方支援を中心に、規律訓練、火災予防を中心とした広報活動、一人暮らし宅の防火指導、応急手当指導、防災教室など「地域の為に役立つ力、笑顔に出逢うために」をテーマにワンチームで活動しております。

今回は、その中でも防災教室についての取り組み事例を発表させていただきます。

現在、国内国外問わず温暖化、異常気象による様々な大規模災害発生により防災に対する取り組みが見直されているところと認識しております。

私たちの地域においても、東日本大震災による被災、直近では台風19号による水害もありました。「自助、共助、公助」とありますが、まずは自助⇒「自分の命は自分で守る」を中心に未就学のお子様から高齢者、乳幼児を持つお母様方など学校、社会福祉協議会様との連携の中、幅広く防災教室を開催し、災害に対する知識、備え、正しい情報にそって行動する大切さをお伝えしております。その中で最も重要視していることは、「より分かりやすく、継続して訓練してもらう」為に、対象になる方への工夫を忘れず様々なパターンを事前に準備し取り組みます。

例えば、未就学のお子様向けには防災絵本、歌、

ゲーム形式にて楽しみながら学んでいただきます。小学生には体験型の防災クイズで備える行動パターン、行動知識、高学年にはAED講習も行います。また、成人、高齢者の皆様にはAED講習、消火器、住宅用火災警報器の使用取扱説明、避難準備物など実生活に基づく情報を中心に実施しております。また、質疑などに対応する為、定期的に医療機関、消防署職員の皆さまにもご協力をいただきながら研修を行っています。

いざという時にパニックにならず落ち着いて行動するためにも普段から防災意識を高めていただけるよう今後も消防団の使命感のもと活動してまいります。

以上で防災教室への取り組み活動の発表を終わります。

ご清聴頂きまして有難うございました。

「消防団員」でよかった。

京都府 舞鶴市西消防団
柴田 久史

お父さんは消防署の人なん？ 当時3歳の娘が訊ねました。

その日は保育所から消防署へお散歩に行ったらしく、消防署員さんと似たような服を持っている私に訊いてきたのです。

ううん、お父さんは消防「団」なんやで。

しょうぼう だん？

消防署の人は今日お散歩で行った、消防車がいっぱい停まるところでずっと仕事しとってんや。お父さんは、昼間仕事中でも、夜とか休みの日に家におっても「ウーカンカン」って音がしたら、消防署の人と一緒に火を消したりするんや。お父さんみたいな人たちが集まっているのが消防 団 なんやで。ふーん…

私の父も消防団員でした。父が勧誘した方が団長となられ、今度は我が家に勧誘に来られました。もちろん『入団』です。火災件数は平成30年で17件と減少しておりますが、当時は火災件数も多く、入団の年は年間38件で、訓練よりも現場で覚えることが多かったように思います。

また、私の住んでいる舞鶴市は20個団で編成されており私の所属する西消防団は管内に舞鶴市西消防署があり、管外の火災でも消防署の「あと詰め」を行っています。詰所も消防署に隣接しており、消防署員さんに顔を覚えてもらいやすいというメリットがあります。“いざ現場”となってもお互い顔がわかるのでたいへん心強く感じています。

現在、舞鶴市においては、人口の減少、消防団員の減少が問題となっております。入団当時9万6千人の人口も現在は8万人です。わが団の団員数も定数ちょうどの52名だったものが31名まで減少しております。舞鶴市消防団審議会に基づく具体化検討会議を開

き、団員確保や女性消防団員の入団促進について検討を重ねるほか、各消防団においても地元の行事や防災訓練で、活動の紹介や知り合いへの声掛けなど地道な取り組みを行っています。

ですが、声をかけて返ってくる答えといえば、「仕事が忙しいから…」
「小さい子供がいるから…」

と、にべもありません。

どの消防団員も仕事や学業を持ち、そのなかで時間を作って消防団活動をされておられます。その姿をいちど”見てください”。自身と見比べていただいて、それでも消防団への入団は難しいでしょうか。

私は職場の育児休暇制度を2回取得しました。その期間中は団長が活動について配慮してくださいました。育児休暇が明けてから団活動をするにしても、普段からの家族への感謝と理解がないと、「育児そっちのけで…」となりますから、休暇をとる前よりも育児を少しがんばってみました。

見本はここにいるウチの団長です。常々、「家族に感謝やぞ」と申しております。

消防団活動はとても楽しいです。いろんな職種の集まりですので、情報の幅や人づきあいも広がります。活動の中で得たことを仕事にフィードバックし、またその逆のパターンで消防団に「お返し」することもあります。もちろん訓練は楽しいばかりでは済まされず、研さんを積んでいくのも仕事とはまた違った魅力となっています。

自身の経験を通じ、一人でも多く”「消防団員でよかった」と言える人を増やしていきたいです。

本日はこのような発表の場を与えてくださり、関係者の皆様にお礼を申し上げます。”ありがとうございました。”

団活！～多様なライフスタイルを活かして

兵庫県 尼崎市消防団
清水 亜由美



皆さん、こんにちは。

兵庫県尼崎市消防団の清水と申します。

皆さんは「尼崎市」をご存知ですか？

公害!ガラが悪い!などよくないイメージを持たれている方も多いのではないのでしょうか？

それはもう過去の話、実は 昨年、関西で住みやすい街第1位にも選ばれた、人情味溢れる素敵な街なんです！

私が、尼崎で消防団に入ったきっかけは、これまで私たちを育ててくれた地域の皆さんに、消防団活動を通じて少しでも「恩返し」をしたいと思い入団を決意しました。

その当時、女性団員は23人で、先輩からは、「昔は若い団員の意見が反映されず、やりたいことは何もさせてもらえなかった」

と聞いていましたが、今では大きく変わりました。

例えば、

☆地元の「FMあまがさき」に出演したり

☆地区祭りで手話を交えた防火防災の歌やダンスを披露したり

☆SNSやホームページなどに女性団員が活躍する姿をアップしたりしています。

また、県内での研修や全国女性消防団員活性化大会などへも参加し、人と繋がることの楽しさと大切さを感じることができました。

いろんな意見を取り入れ、なんでもさせてもらえる環境がいきいき 楽しく活動する「団活」となり、女性団員の確保につながったと自負しています。

今では、女性団員操法大会へ出たい!という思いもあり、全国大会を目指し団員の絆をさらに深めていくため、ぜひとも挑戦してみたいと考えています！

このような活動を仲間と続けていくうちに、今では尼崎市消防団906人中、女性団員は なんと51人と、10年前の倍以上となっており、兵庫県の女性団員の約10%を私たち尼崎市の女性団員が占めています。

兵庫県では、阪神淡路大震災を経験し消防団員の人員確保の重

要性を痛感したことからその数を増やし、全国1の消防団員数を誇っていますが、女性団員は526人と2%足らずで、東京都の女性団員が約2500人と全団員の10%強を占めていることと比較すると、兵庫県はまだまだ少ないと感じてしまいます。

一方、消防団の役割も大震災以後

☆災害への対応だけではなく

☆火災を防ぐ広報活動

☆市民を震災・津波などから守るための防災意識の普及啓発。

☆救命講習

など多岐にわたるようになってきました。

これらは、女性ならではの心配りができる、私たち!女性団員の出番であると考えます。

今では多くの女性が職を持ち、社会で活躍し、私も看護師という職業柄、救命講習や子供と接することは得意分野ではありますが、勤務形態が不規則で 仕事!家事に!忙しいときは団活動の時間を作りだすのが難しいことがあります。

こうしたことから、事業所などが地域防災に寄与する環境づくりが必要であり、消防団協力事業所制度、機能別団員・分団制度を導入することによって多様なライフスタイルに合った団活を作り出すことができれば今よりも活動の時間を増やせたり、新たな働く女性の入団が見込めたりするのではないのでしょうか。

多様なライフスタイルの団員一人ひとりが「個」の特長を活かし、いきいき 楽しく団活する姿を見せ「楽しそうだな、私もやってみたい」と感じてもらうことで、さらに仲間が増えていく原動力になると考えます。

事業所・行政・消防団が スクラムを組んで、ワンチームとなり地域の安全・安心に貢献できればとても素晴らしいことであると思います。

私たちの「団活」が、日本の縮図と言われる兵庫県の中で、地域防災力向上のモデルとなるように、これからも「いきいき 楽しく」「やります!団活!!」

ご清聴ありがとうございました！

平成30年7月豪雨から見えてきた女性消防団員の役割

佐賀県 佐賀市消防団
江口 悦子



佐賀市富士町は佐賀県の最北部に位置し、町土の約82%を豊かな森林で占めています。水の郷百選にも選ばれ、「緑と清流と温泉の町です。」

私の住む大串地区は、48世帯、約140名の小さな急傾斜地の集落であるため、豪雨などによる土砂災害が懸念されることから、平成24年に自治会・自主防災会が結成されました。助け合いの精神で、自主的な防災活動を行い、被害の防止及び軽減を図ることで作られました。

年2回の自主防災活動として災害時における対応・初期消火訓練・炊き出し訓練・防災グッズの紹介等の活動、AEDによる救急蘇生法も行っており、地域住民の皆さんは積極的に参加されています。

平成30年7月6日

この日、地区の防災訓練が現実のものとなりました。6日の朝方、佐賀市北部地区に災害警報発令のメールが入りました。

やむことのない雨が心配で、表に出ると、裏山から流れ込む水の量、水路のマンホールのふたを押し上げ噴き出しているのを見たとき、「これはいつもと違う!」と思い、「はよ!逃げんば!!」と息子に大声で知らせ、近所に声掛けもしながら、私自身食料・貴重品・血圧計と息子と私のぶんの活動服を持ち、公民館へ行きました。

そして、公民館に避難するように地区放送が入りました。

地区住民の協力によって、独居老人や車椅子の方が避難されてきました。

大串地区には富士支団女性部員が3名います。公民館で、私達女性部員が行った行動は、カレンダーの裏紙に避難者の名簿を作成することでした。高齢者が多い地域なので、血圧測定もしました。

そして皆さんに、公民館を出て自宅に戻らないように声掛けをしました。なぜならば、外はいつもと違う降り方の雨だったからです。

雨がやんでも土砂災害の危険性も高く、すでに主要道路が通行不能になっていました。

84人が、一晩夜を過ごす判断となり、避難者全員が公民館では無理があったため、隣の保育園を相談の上、借りることができ、避難は2班で別れる事となりました。数名の女性に声をかけ、夕食の炊き出しも致しました。

蒸し暑さと不安で眠れない夜でした。

7月7日

朝、女性陣で炊き出しを行い、持ち寄りの野菜で、みそ汁を作り、避難された皆さんはとても喜ばれました。

その後、7日の午前中に避難解除となり、皆さんそれぞれ自宅に戻る事が出来ました。

今回の災害での課題点は、避難が100%出来なかった事です。

しかし、人的被害が無かった事が幸いでした。

富士支団女性部12名の今後の活動として、男性消防団員と共に、全地区自治会の協力を頂き、いつ起こるかわからない災害の備え、避難用の食料・防災グッズの紹介を行いたいと思います。また、必ずいつも飲んでいる薬を持って、早めの避難の心掛けを啓発していくためにも、日頃からの地域でのコミュニケーションが大切である事を改めて痛感致しました。

ご清聴ありがとうございました。

消防団と自衛隊と 地域防災について

長崎県 大村市消防団
福井 由美子



ゴロゴロ、ドーン、ザーザー、ヒューザー

まだ、二人のわが子が幼いころ、長崎県に大型で強い台風が直撃し、停電の中、不安と恐怖で震える子どもたちを抱えながら、一夜をすごしました。

自衛官である主人は、被災地からいつ災害派遣要請があっても出動できるよう部隊で待機したまま家に帰ることはありません。

私も元航空自衛官であり、予備自衛官としても長年訓練していた経験から、自衛官の立場は理解しています。しかし、不安な気持ちでいっぱいだったこと覚えています。

今では、いつ起こるかわからない災害に備えて、年末年始やゴールデンウィークなどで、帰省中であっても常に天候や災害情報を気にすることは欠かせません。

私のいる大村市には、陸上自衛隊2部隊と海上自衛隊の基地があります。

2年に1度は、自衛隊の基地を借りて総合防災訓練も行われます。

総合防災訓練では、倒壊家屋からの救出訓練や洪水に備えた水防訓練、建物火災の消火訓練、防災ヘリ・自衛隊ヘリによる救出訓練が自衛隊、消防、警察をはじめとしたさまざまな機関が連携して行われます。

私の所属する大村市消防団も自衛隊と連携して、要救助者の倒壊家屋からの救出訓練などに参加しました。

大規模な災害がいつ起きてもおかしくない今、地域住民の安心安全を守るためには、災害復興のスペシャリストと言える自衛隊と地元のことをよく知る消防団の連携強化は重要と考えます。

昨年、宮城県勤務の主人の案内で東日本大震災の被災地を訪問し、「こんな高さまでの津波が来た

なんて!』と、災害の恐怖を目の当たりにしました。災害復興を行った自衛隊には、救助のための多種多様な資機材がありました。車両自体が橋や道路になり、交通の復旧を行ったり、たくさんの人数の食事を作る施設や入浴施設を作ることでもあります。

被災地の被災者にとって、自衛隊の支援は生活していくうえで、欠かせないことは確かです。

しかし、地域に密着し、高齢者宅や家族構成までを把握しているのは消防団であり、素早く駆けつけられるのも消防団です。

一人ひとり個人への対応をして、安心させてあげられるのは消防団ではないでしょうか？

そして、私達女性消防団員が災害に備えてできることといえば、市民への啓発活動を続けていく事だと思っています。

地域や学校の救命講習や町内会で行われる自主防災訓練等へ出向き、救急車が来るまでの救命処置を身につけてもらうことや、自分の命は自分で守れるよう非常時持ち出し袋の準備を進めていく事です。

そして、もしも大災害が起きてしまった時には避難所で生活する市民のために女性ならではの気持ちで対応し、市民はストレスや不安をやわらいであげる心のケアを手伝っていかれたらと思っています。

令和元年度 全国消防団員意見発表会 審査員紹介

審査員長を除き五十音順、敬称略

審査員長 日本商工会議所 総務部長
塩野 裕

審査員 フリーアナウンサー、第28次消防審議会委員
青山 佳世

広島市西消防団事務局女性消防隊隊長、消防庁消防団等充実強化アドバイザー
神村 登紀恵

プロレスラー、消防応援団、(一社)ニューワールドアワーズスポーツ救命協会代表理事
蝶野 正洋

NHK制作局 第3制作ユニット(福祉)チーフ・プロデューサー
三宅 有子

日本商工会議所 総務部長 塩野 裕



皆様素晴らしい発表で本当に甲乙がつけがたく、大変な役を引き受けたものだ、と、採点しながら非常に困った次第でございます。

私は先ほどご紹介いただきましたように、日本商工会議所の総務部長でございます。商工会議所は全国に515、およそ市町村の市の単位に存在しております。全国各地において、商工会議所は、地域に密着した活動をさせていただいていると自負しておりますが、消防団の皆様が日々、より地域に根差した形で、住民それぞれの顔が見える中で活動されていること、そして発表されたお一人お一人の意識が非常に高く、責任感と使命感に溢れているということに改めて敬意を表したいと思います。

近年は、毎年そこかしこで災害が起きており、私どもといたしましても、地域防災について日々考えております。全国515の商工会議所地域には、全事業所のおよそ7割が立地しております。私どもといたしましても、皆様の消防団の活動について、広報をはじめとして、事業所の方々の理解を促進するためにできる活動が更に色々あるなどいうことを痛感した次第でございます。

改めて、素晴らしい発表をお聞かせいただき、感謝申し上げます。全ての発表で様々な気づきをいただきまして、大変勉強になりました。皆様も、おそらく多くの気づきを得られたものと思

います。お互いの発表を、それぞれの今後の活動に生かして、さらに進んだご活躍をいただければと思います。

結びになりますが、本日は最優秀賞、優秀賞、そして優良賞をそれぞれご受賞された皆様に改めてお祝い申し上げます。どうもありがとうございました。

フリーアナウンサー 第28次消防審議会委員 青山 佳世



審査員を務めさせていただきました、青山 佳世でございます。発表してくださった皆さん、本当にありがとうございました。そして、皆さんおめでとうございます。

年々皆さんの発表は素晴らしいものになってきていて、私たちの審査は極めて難しいものになっていました。

今年のこの会場は、例年の会場に比べて、この段が倍くらい高いですね。ここに立つと本当に皆さん達を見渡せるというか、お一人お一人の顔がよく見えて、立つだけでドキドキする中で、日頃の練習の成果をそのまま最大限発揮していただいて素晴らしかったと思います。日々活動しておられる消防団の活動を様々な切り口で、家族との関わり、それから地域防災のあり方について、それから実際に災害に立ち会われてどうしていったらいいか等々、伺った私たちもなるほどそうか、と本当に大変な中で、皆さん消防団の活動をやっておられるということを感じさせていただきました。

そして私のコメントは毎年のように、芝居仕立てで出来上がったきれいな話し方ではなくて、それぞれの人たちの個性が溢れ出る自然な語り口で自分の思いを語ってくださいねということをお願いして参りましたが、今年は見事、全員の方達がそれを成し遂げてくださいました。

そして、発言内容以外で何で差がついたかと言いますと、一つはタイムキープです。この決められた時間からちょっとオーバーしただけで、大差がついてしまったということです。生放送をやってきた私たちでも大変難しいことを、消防団の皆さんたちに要求するのも非常に酷ですけ

れど、これは一つのルールということでご容赦ください。それからもう一つは、これはかなり皆さん達日頃の訓練や活動の中で行なっているのでもほぼ大丈夫なのですが、発声と滑舌です。発声は、男性の方々は常々腹式で呼吸をされているということですが、女性の方はどうしても胸で声を出すことが多いのですけれども、消防団の皆さん達は、特に操法大会などなさっている方達は大きな声を出されますので、非常に明快な明瞭なお声で発言してくださいました。やっぱり災害の時や大雨の時に声が聞こえなくなるのも、声がかすれてしまっは何にもなりませんので、やはりこれからも腹式でおなかから声を出すことを忘れないでいただきたいと思います。あとは滑舌ですね。この口角をきっと上げる練習をするのですけれども、寸劇などで広報活動をしている方達は、非常に明快な言葉じりで、お話になっておりますけれども、自分の思いを相手の方に伝えるには、やはり明快な言葉でしかも方言も、自分なりの語り口も入れながら行なっていくという、とても私にもできないことなのですから、そういうことも工夫していただけると更にさらに素晴らしい発表になるのかなと思いました。

日々大変大きな災害がどこで起きるとも言えない時代になってきました。皆さん達の活躍が益々住民の皆様様の安心と安全につながっていく中で、自分の命を大事にしながら、地域の皆さん方の安全も確保していただきたいなと思いながら今日の発表を聴かせていただきました。本当に今日はありがとうございました。

広島市西消防団事務局女性消防隊隊長 消防庁消防団等充実強化アドバイザー 神村 登紀恵



皆さん、素晴らしい発表ありがとうございました。私は今回審査員として、初めて参加させていただきました。また、私は、皆さんと同じ消防団員です。私はこれまで、アドバイザーとして、いろいろな場所に行き、お話しをしています。本日発表された皆さんの様に、この様にたくさんの方々の前で発表するのは、なかなかできません。講評としては、このような発表をしたことがないので、先にお話されました青山さんがすべて言ってくださったのと安心しております。

発表内容ですが、家族の理解、それから地域への愛情、仲間と行う訓練や活動のこと、消防団員としての思い、消防団へのマイナスイメージを変える、警察や自衛隊と連携しての防災力の向上等、いろいろな話をさせていただきました。私も23年前、消防団に上手く誘われて入団した一人でございます。入団してから1年間は、2ヶ月に1回一日訓練を、初期消火、天ぷら油火災などに加え、当時、広島の方では安芸灘地震がいつ起こってもおかしくないといった時期でしたので、「地震が起きたらどうするか」といったことを自主防災会の方々へ指導する研修を行ってまいりました。私は、舅・姑の理解があったからこれまで続けることができましたし、当時、消防団活動をすることに反対していた主人も、23年経った今では一番の応援者になってくれました。そのようなことを思い出しながら、今日皆さんの

発表を聞かせていただきました。

また、地域のことは、これから起こる災害に備え、消防団員として何をしていけば良いか、消防団員を増やすためにどう工夫したら良いか、先ほどありました、イメージを変えるというのも一つです。それから女性消防団員の活動を地域でもっと積極的に行うことも必要だと思いました。

私は、子ども会の活動やPTAの活動を通じて、消防団から声を掛けていただきました。私の所属する消防団にもそういう団員が沢山います。皆さん、忙しい人に声を掛けてください。暇な人は消防団に入りません。私は、いつもそう言っております。忙しい人は時間を作るのが上手です。訓練や活動にも参加する稼働率が高いです。そういう方にしっかり声を掛けて、男性も女性も若者も増やして欲しいと思います。皆さんの発表の中で、消防団に対する思いは全員一つだと感じました。これからは頑張って、活動していただきたいと思います。特に今からは身体のこと、私も60を過ぎまして、つくづく健康が一番だと思っています。健康でないと消防団は務まらないなとも思っておりますので、健康にも気をつけてこれからも頑張ってください。今日は素敵な発表をありがとうございました。

プロレスラー

消防応援団

(一社)ニューワールドアワーズスポーツ
救命協会代表理事

蝶野 正洋



ガッデム！アイアムチョウノ！

今日の意見発表会、何度か審査委員を務めていますけれども、感動しました。過去何回かは、団員さんの入団のきっかけの話が多くて、自分はいまひとつ理解ができなかったのですが、いま消防応援団として消防団の方の応援に携わっている中で、今回皆さんの口から必ず出てきたのは、家族や仕事を抱えながらも、サポートを受けて消防活動と市民活動をされていると。そうした話を聞くにつけ、本当に感謝の念を抱きますし、苦勞されている皆さんの活動を、消防応援団として広く伝えていかなければいけないと感じました。

消防団の方々は、消火活動だけでなく、今は自然災害から有事の際と、活動の範囲が広がっていると聞いております。本当に皆さんの体が大丈夫かと心配になりますけれども、大変でも続けていけるのは皆さんの町を守る、地元を愛するという気持ち、そしてやはり思いやりの気持ちがあつてのことだと思います。そういった消防団の活動を、もう少し周りの人たちに、市民の人たちに理解してもらえるようになれば、皆さんが本当に多くのものを犠牲にしながら行っている活動というものが、より良いものになると感じました。

今日は佐賀の方であつたり、東北の方であつたり、地域ごとで皆さんの活動や役割が違うということを改めて感じました。話を聞いて感動して、本

当に全員10点と書きたかったのですが、最初の方は少し細かく採点し過ぎて…最後の方は全員10点でした(笑)。今日の11人皆さんの話は全部、内ではなく外に向けられたもので、消防団員の皆さんに聴かせたいお話でした。本当に素晴らしいお話、ありがとうございました。これからも消防の活動、頑張ってください。お疲れ様でした。



NHK制作局 第3制作ユニット(福祉)チーフ・プロデューサー 三宅 有子

NHKで福祉番組のデジタル発信を担当しております。今日は皆様、大切なお話を聴かせていただき、大変ありがとうございました。

今日のお話にもたくさんありました通り、特に今年は災害が多発し、私共の福祉番組チームでも、いくつもの番組を放送し、情報発信しました。その中で改めて、障害のある方には、防災や避難に関して、まだまだ課題の多いことが浮き彫りになりました。障害があるといっても、身体の障害だけではないですし、例えば耳の聞こえない方は自分が一目見てどういう障害なのかわかってもらえないため苦労されるそうです。発達障害の方には、音や匂いなどへの感覚過敏の方がたくさんいらっしゃいます。他にも、化学物質が苦手で、避難所で使う防臭スプレーでアレルギー症状が起きないか心配だという意見もありました。様々なケースがあり、多くの方から「自分には避難は無理」という声が届いています。

実際の災害現場では、消防団の皆さん、地域の皆さんがそういったいろいろな要望や課題と向き合っていると思うのですが、今日は本当に厚い志や温かい言葉を聞かせていただきまして、全国各地で皆さんがこうして支えてくださっていることで、障害があっても心強く暮らしている方々も多いはずだと感じました。

少しNHKの話をさせていただきますと、今月の

初めに大々的な防災キャンペーンがありまして、「体感・首都直下地震ウィーク」と銘打ったのですが、シミュレーションとして12月の平日の夕方、寒くて薄暗い帰宅時間帯に首都直下地震が起きたらどうなるかということを、内閣府の想定に従ってドラマなどで一週間にわたりお伝えしました。相当、過酷な事態が起きるかもしれません。私共の福祉番組のうち「ハートネットTV」では、障害のある方が実際に避難する際にどういう困難があるかを生放送で伝えました。その中のVTRに、障害のある方と一緒に避難訓練を継続して行なっている地域の紹介があり、地元の消防団の方が障害のある方々を誘導してくださるシーンを放送いたしました。

障害のある方々にとっては、日頃から防災のための活動をされているということで、消防団の皆さんを本当に頼りにされていると思います。私共のホームページには「災害・誰も取り残さない」と標語のように書いているのですが、皆さんと同じ気持ちなのかなと思います。実際の災害現場では皆さんに頼ることになりますが、私共は情報発信という役割を負って、これからも障害のある方々の防災や避難所生活といった課題を考え、伝えていければと思っております。おかげさまでたくさん得ることのあった一日となりました。ありがとうございました。



日程 令和元年12月20日(金)

会場 中央合同庁舎第2号館 地下2階講堂

公益財団法人日本消防協会 会長 秋本 敏文



今日、表彰をお受けになる方々は、それぞれのお立場で、今日まで大変なご苦勞がおありだったと思うのですが、このことが認められたものであり、心からお慶び申し上げます。

先ほど、消防団員の方々の意見発表がございましたが、その内容はいずれも、それぞれの皆様方の日頃の地域のなかで、どのようにお考えになり、ご活動されているかがよくわかり、地域の皆さんの安全確保のためにご尽力頂いているお姿は、ありがたいですし、心強く感じました。

このあと、災害発生の現場などで懸命な活動をされた消防団の方々に対する表彰が行われますが、いろいろな困難があるなかで、団員の皆さんが力を合わせて力一杯活動されたことに、まず何よりも感謝申し上げます。そして深く敬意を表します。本日はそのようなご活動が消防庁長官表彰という素晴らしい形で認められたものであり、心からお慶び申し上げます。

色々な災害等の経験を経て、平成25年に「消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律」という新しい法律を制定して頂き、消防団の重要性が法律にも明記されたのですが、その消防団の力の源は消防団員であり、団員の確保が最も基本的な大事な課題です。

しかし、近年、少子高齢化や被雇用者の増加により、団員の確保に大変苦勞しているのが実態です。

今日、消防団協力事業所として表彰をお受けになる皆様には、この重要な問題について真摯なご協力を頂き、消防体制の充実強化にご貢献を頂いております。今、消防団員の7割はお勤めの方でして、消防団としてもお勤め先との関係について努力しておりますが、お勤め先のご理解がなければ、団員になるのも、団活動が続けるのも困難ですし、また、お勤め先のご理解があることが、地域防災体制の強化になります。私ども消防関係者としては誠にありがたく、深く感謝申し上げますとともに、これからもご高配賜りますようお願い申し上げます。

今日、表彰をお受けになる皆様におかれましては、それぞれのお立場で、国民の皆さんの安全確保のため、地域防災力の充実強化にご尽力頂きますようお願いいたします。そして、そのためには、本日、ご列席の皆様おひとりおひとりが益々お元気でいて頂かなければなりません。益々のご健勝ご多幸、そして国内各地の無事平穩をお祈りいたしまして、祝辞とさせていただきます。本日は誠にありがとうございます。

来賓祝辞

全国消防長会 会長 安藤 俊雄



本年は日本各地で台風など記録的な豪雨や暴風の影響により、河川の氾濫や土砂災害が発生し、甚大な被害が発生いたしました。

過酷な状況下で長時間にわたり活動された全国各地の消防団員の皆様に、敬意を表しますとともに感謝申し上げます。

本日、表彰されます皆様は、日頃より地域防災力の向上に献身的に取り組まれている消防団と事業所、そして、災害現場において救助活動等に多大な貢献をされた消防団の方々です。皆様のご尽力に対し、改めて感謝を申し上げますとともに、心よりお祝いを申し上げます。

先ほどの「全国消防団員意見発表会」におきまして、消防団の皆様が実践されている取り組みや、活動を通じて得られた貴重なご意見を拝聴いたしました。

発表された方々が、各消防団の中心として一層ご活躍されるとともに、発表内容が多くの消防団のよき指針となることを期待しています。

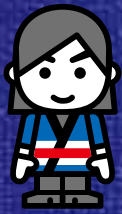
来年は、いよいよオリンピック・パラリンピック競技大会が開催され、海外から多くの選手や観光客が日本を訪れます。万全な体制で臨むため、全国消防長会では、消防団をはじめ関係機関と緊密に連携してまいりますので、引き続きご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、皆様方のご多幸と、更なるご活躍をご祈念申し上げ、お祝いの言葉とさせていただきます。

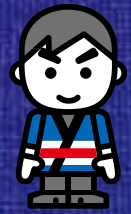
令和元年12月20日

全国消防長会

会長 安藤 俊雄



令和元年度 消防団等地域活動表彰 消防団表彰 26消防団



〈代表受領 山口県 宇部市消防団〉

都道府県	消防団
北海道	清水町清水消防団
北海道	釧路北部消防事務組合鶴居消防団
宮城県	仙台市太白消防団
群馬県	みどり市消防団
東京都	野方消防団
東京都	西東京市消防団
神奈川県	横浜市鶴見消防団
神奈川県	横浜市南消防団
神奈川県	川崎市麻生消防団
新潟県	新潟市消防団
福井県	若狭消防組合 小浜消防団
福井県	若狭消防組合 おおい消防団
福井県	若狭消防組合 上中消防団

都道府県	消防団
福井県	若狭消防組合 高浜消防団
長野県	野沢温泉村消防団
長野県	朝日村消防団
岐阜県	恵那市消防団
愛知県	東海市消防団
京都府	笠置町消防団
大阪府	富田林市消防団
岡山県	総社市消防団
山口県	宇部市消防団
福岡県	北九州市門司消防団
福岡県	北九州市若松消防団
福岡県	小郡市消防団
佐賀県	吉野ヶ里町消防団



〈消防団等地域活動表彰(消防団表彰)〉



令和元年度 消防団等地域活動表彰 事業所表彰 13事業所等



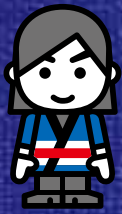
〈代表受領 岐阜県 協業組合 H・C建設〉

都道府県	事業所
北海道	美幌町森林組合
群馬県	前橋市農業協同組合
東京都	株式会社 八洋
神奈川県	株式会社大津スイミング企画
新潟県	社会福祉法人 桜井の里福祉会 高齢者総合生活支援施設 はな広場
石川県	株式会社タキノ工業所 穴水工場
長野県	有限会社 志賀プラントサービス

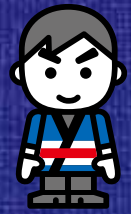
都道府県	事業所
岐阜県	協業組合 H・C建設
静岡県	株式会社 下田電化設備工業
山口県	有限会社 大福丸
愛媛県	株式会社池田水道
福岡県	第一港運株式会社
大分県	佐伯重工業 株式会社



〈消防団等地域活動表彰(事業所表彰)〉



令和元年度 消防庁消防団協力事業所表示証交付 38事業所等



〈代表受領 和歌山県 株式会社 坂口製作所 和歌山工場〉

都道府県	事業所等
北海道	北るもい漁業協同組合 羽幌本所
北海道	株式会社 堀川清掃
北海道	中春別農業協同組合
北海道	社会福祉法人 清水旭山学園
北海道	社会福祉法人足寄町社会福祉協議会 高齢者等複合施設 むすびれっじ
青森県	青森総合警備保障株式会社むつ営業所
青森県	日本ホワイトファーム株式会社
青森県	有限会社川西商会
宮城県	株式会社 環境開発公社エムシーエム
山形県	永井建設 株式会社
山形県	株式会社 高橋工務店
群馬県	佐波伊勢崎農業協同組合
新潟県	社会福祉法人 桜井の里福祉会 高齢者総合生活支援施設 はな広場
新潟県	新潟医療技術専門学校
富山県	平野工務店株式会社
長野県	ナパック株式会社
岐阜県	恵南森林組合
岐阜県	明宝特産物加工株式会社
岐阜県	株式会社 熊崎組

都道府県	事業所等
静岡県	オルイー株式会社
愛知県	SafetyManagement株式会社
京都府	勸修寺観光農園
大阪府	茨木市農業協同組合
兵庫県	大栄環境株式会社 三木リサイクルセンター
和歌山県	株式会社 坂口製作所 和歌山工場
島根県	島根県農業協同組合 出雲地区本部
岡山県	小堀建設株式会社
山口県	有限会社 松原水産
福岡県	南筑後農業協同組合
福岡県	社会福祉法人いわき福祉会 複合型福祉施設 プロムナードとばた
福岡県	吉永商店株式会社
福岡県	たくみ株式会社
佐賀県	祐徳建設興業株式会社
佐賀県	株式会社ライフラインコネクト
長崎県	小浜自動車工業有限会社
長崎県	宅島建設株式会社
長崎県	大坪建設株式会社
宮崎県	一般社団法人 宮崎県治山林道協会

消防庁消防団協力事業所表示制度

消防庁消防団協力事業所表示制度とは、市町村消防団協力事業所の認定を受けていること、一定数の従業員が消防団員であること等、特に消防団活動に協力している実績が顕著であると認められる事業所等に対し、消防団活動への協力の証として「消防庁消防団協力事業所表示証(ゴールドマーク)」を交付するもの。



〈消防庁消防団協力事業所表示証交付〉

受賞者代表謝辞

山口県 宇部市消防団 団長 木谷 正芳



本日、ここに消防庁長官をはじめ、多くの皆様のご臨席のもと、表彰の栄を賜りましたことは、身に余る光栄と受賞者一同、心より深く感謝申し上げます。

近年は全国各地で大規模な災害が次々に発生しており、今年も8月に佐賀県などの九州北部を襲った大雨により、更には9月と10月に東日本に上陸した台風15号、19号により各地で甚大な被害が発生し、多くの尊い生命や財産が失われております。

このような災害に各地の消防団員は、他に本業を持ちながらも「自らの地域は自らで守る」という精神に基づき、果敢に消防団活動を行っており、地域の安全確保のために果たす役割は極めて大きいものであります。

しかしながら、近年では全国的に団員数の減少や高齢化など、様々な課題を抱えています。

宇部市消防団においても、団員数の減少が続いていたことから、平成28年度に大学生を対象として機能別消防団員制度を導入し、多くの学生が入団したところです。

今後、市民に信頼される地域防災の担い手として、しっかり育てていく所存です。

私たち受賞者一同、本日の受賞を契機として、「郷土愛護」の精神のもと、自信と誇りをもって消防使命を達成することを固く誓い申し上げ、謝辞とさせていただきます。



消防団等地域活動表彰〈消防団表彰〉

子供から大人まで！ 地域住民とふれ合う消防団活動を展開

北海道
清水町清水消防団

秋の火災予防運動の一環として、「ふれて学ぶ 防火のきほん」をコンセプトに、消防署と協力し防火フェスティバルを開催している。様々な体験を通じ子供から大人まで直接的に消防とふれ合う機会をもち、火災予防の意識高揚に繋げ、安心して暮らせる町づくりに努めている。

また、女性団員による園児を対象とした防火教室では防火紙芝居を行い、女性ならではの特性を生かした活動を展開し、幼少期からの防火思想普及に努めている。



防火フェスティバルで子供から大人まで様々な体験を楽しむ様子

園児を対象とした防火教室で
防火紙芝居を行う様子

DATA

人口	9,599人
面積	402.25km ²
団員	定数65人
実数	55人(うち女性7人)

明るい笑顔で 火災予防啓発活動実施中

北海道
釧路北部消防事務組合鶴居消防団

平成26年に創設した女性消防部は、単身高齢者宅の防火訪問時に手作りのしおりや手帳の配布、保育園での火災予防啓発劇の上演、年少児童を対象とした「消防キッズフェア」、中学生を対象とした防災炊出し訓練の指導など幅広い年齢層に向け活躍している。また、鶴居消防団では村の行事「ふるさと祭」に毎年参加し、防火衣の着装や放水などの消防体験ブースを設けるとともに、村内外から訪れた入場者につきたて餅に防火チラシを添えて啓発活動を行っている。



単身高齢者宅を防火訪問し手作りの「しおり」をプレゼント

保育園にて火災予防啓発劇を上演後、園児と記念撮影。鶴居村のゆるキャラ「つるぼー」も登場

DATA

人口	2,534人
面積	571.8km ²
団員	定数91人
実数	78人(うち女性6人)

管轄区域内の大学と連携した 団員確保対策等

宮城県
仙台市太白消防団

管轄区域内の大学の職員と学生で結成された「地域防災サポートチーム」と連携し、地域の防火・防災普及啓発活動を実施している。また、団員でもある大学の教員が防災に関する講義も行っている。こうした活動が消防団への理解を深め、主に学生の入団へと繋がっている。卒業を機に退団する際には、在学する学生団員が勧誘などを行い、団員を確保している。これ以外にも、管轄区域内のイベント等において勧誘活動を展開し、入団促進を図り団員を確保している。



消防署で消防団と大学生が連携して、放水訓練を実施している様子

管轄区域内のイベントで消防団員が募集チラシを配布し、消防団の勧誘活動を行っている様子

DATA

人口	222,525人
面積	84.18km ²
団員	定数430人
実数	382人(うち女性27人)

消防力向上に向けた 機能別消防団員制度の新設

群馬県
みどり市消防団

みどり市消防団は、過疎化が進み人員が不足している山間地域の消防団員確保、また、地理的に消火能力に不安がある地域の消防力の向上を図る事を目的に、平成31年1月から機能別消防団員制度を導入した。主に、「初期消火活動」「消防ポンプ車の運転」「火災現場での消火活動」など火災出動時に活動しており、地域防災力の向上に努めている。



みどり市消防団機能別消防団員辞令交付式

令和元年度みどり市消防団秋季
消防点検

DATA

人口	50,906人
面積	208.42km ²
団員	定数331人
実数	270人(うち女性0人)

消防団等地域活動表彰〈消防団表彰〉

消防団員の入団促進に関して 成果のあった広報活動

東京都
野方消防団

消防団員の減少が問題視されるなか、野方消防団では以下の取り組みで成果を挙げている。

- 1 消防団員入団促進を目的とした委員会を中心に、野方消防団独自の団員募集チラシを5万部作成し、「地元の各種祭事等の警戒」「防火防災訓練指導」「救命講習指導」等の各種活動会場等で継続的に配布する等、募集広報活動を展開した。
- 2 分団本部を地域住民等に開放し、消防団員体験、応急手当講習、放水体験等を実施し、入団促進を推進した。



分団本部を地域住民に開放し、消防団員体験、放水体験等を通じて入団促進を図った

DATA

野方消防団独自の団員募集チラシを5万部作成、各種イベント等で配布し、募集広報活動を継続した

人口	194,905人
面積	15.59km ²
団員	定数250人
実数	192人(うち女性21人)

団員確保と団員育成に努め、 地域の安全確保

東京都
西東京市消防団

新体制でスタートした平成29年4月1日から団員確保を継続的に取り組み、消防団の特性の一つである地域密着性を活かし、地元の情報を基に団員自らが足を運び積極的に勧誘し、団員数の減少に歯止めをかけ、平成31年4月1日までに26名(うち女性消防団員2名)の団員を増員。団員確保と並行して教養講座・普通救命講習・基礎訓練や団員の活動能力向上を目的とした訓練を重ね、地域の安全確保ができる団員育成に取り組んでいる。



東京都消防訓練所の教師による「安全管理」教養講座

DATA

実践的活動訓練

人口	200,012人
面積	15.75km ²
団員	定数244人
実数	229人(うち女性4人)

鶴見区の安全・安心を目指して

神奈川県
横浜市鶴見消防団

鶴見消防団は、団員充足率が低迷する中、消防団員が一丸となって地域や事業所、さらには行政とも連携し、消防団員の確保に取り組んだ。地元町内会等の会合のほか、事業所や福祉施設、大学、PTAにも募集活動を行い、また鶴見区内で開催されるイベントでは、親しみやすい消防団をアピールした。さらに「団員と家族の絆プロジェクト」では、活動を応援する家族の協力を仰ぎ、親子や夫婦等の団員も増加した。このような取り組みによって、短期間で充足率100%に成功した。



鶴見区内で開催されるイベント等に積極的に参加し、区民から親しみやすい消防団をアピールし団員募集活動の実施

関係機関と連携し駅頭広報や
消防団募集のPR活動等あらゆる
場面での募集活動の実施

DATA

人口	285,356人
面積	33.23km ²
団員	定数550人
実数	550人(うち女性105人)

「南消防団組織充実へ向けた取組」 ～県内充足率最下位から100%への道のり～

神奈川県
横浜市南消防団

平成29年度当初、南消防団は神奈川県内において、消防団員充足率が最下位であった。消防団の担い手を確保するため、南区連合町内会長連絡協議会を通じ、地域住民への広報活動を強化した。

また、「南消防団女性声楽隊」を組織し、歌唱と寸劇による広報活動や女性・学生・事業所団員の確保に焦点を当てた団員募集により底上げを図った。

消防職・団員一人ひとりが営業マンとして団員確保へ取り組むことで、平成30年11月に初めて「充足率100%」を達成した。



南消防団主催のコンサートでの南消防団女性声楽隊

DATA

人口	194,827人
面積	12.65km ²
団員	定数395人
実数	395人(うち女性78人)

町内会のイベントで実施した、
地域住民への広報活動

消防団等地域活動表彰〈消防団表彰〉

新たな消防団員の確保対策としての 女性団員の入団及び女性団員の活用

神奈川県
川崎市麻生消防団

団員の充足率向上及び消防団活動の拡充を図る
目的で、平成30年4月より新たに女性消防団員の入
団を可能とした。

女性消防団員は総合防災訓練や消防フェアにお
ける広報、台風への警戒に向けた広報巡回、消防出
初式における消防演技の披露等に積極的に参画す
るなど、地域に密着した活動により、地域防災力の
向上に貢献している。



辞令交付式の様子

DATA

人口	175,523人
面積	23.11km ²
団員	定数168人
実数	159人(うち女性15人)

広報活動をしている様子

学生・女性消防団員の活躍により 広がる地域防災力の輪

新潟県
新潟市消防団

平成26年4月に学生消防団員の募集を開始し、発
足時は7名であったが、現在は約300名の学生団員
が在籍するまでとなった。学業の傍ら、市民に火災
予防を呼びかけるなど、広報活動をはじめ、様々な
活動を行っている。

また、女性消防団員(通称:ひまわり隊)の活動は、
応急手当の普及や、幼児への防火教育のほか、高齢
者家庭を訪問して防火指導を行うなど、女性視点に
よる地域に寄り添ったきめの細かな活動が、地域か
ら高く評価されている。



入団式の様子。今後の活動に意欲を見せる学生消防団員

DATA

人口	810,157人
面積	726.45km ²
団員	定数6,443人
実数	6,056人(うち女性160人)

女性消防団員が着ぐるみを活
用し、幼児に対し防火・防災指
導を実施している様子

地域の実情に応じた消防団独自の多種多様な経験や知識を活かし、 消防団の機動力アップを目的に機能別消防団員制度が発足

福井県
若狭消防組合 小浜消防団

平成31年4月1日から機能別団員制度を新たに発足している。本消防団の場合は、「OB団員」と「防火広報団員」の制度を設け、団員の活動の幅を広げることにより、より多くの方に消防団活動に参加していただき、消防団員を確保するとともに、地域防災力の向上を図っている。学生、女性や消防団OBなど、それぞれが自分たちの特徴を活かした活動を行うことで、消防団に対する理解や広報にも大きく繋がっている。



機能別団員激励会

秋季火災予防運動広報



DATA

人口	28,538人
面積	233.11km ²
団員	定数370人
実数	356人(うち女性6人)

地域防災力の向上を目指し、 おおい町の平和を守り続ける

福井県
若狭消防組合 おおい消防団

おおい消防団は定期的に地域の防災訓練や原子力防災訓練を実施し、町・住民と連携し防災のリーダーとして、地域に密着し、町民の安全安心を守るという重要な役割を担っている。

今年度より機能別団員が創設され、大規模災害に対応する消防職団員OBなどで構成する災害対応団員と防災意識を啓発させる予防広報団員と別れてそれぞれ活動している。



おおい町総合防災訓練で関係機関と連携し傷病者搬送訓練を実施

町内のイベント会場で火災予防の啓発活動を実施
(機能別団員: 予防広報団員)

DATA

人口	8,325人
面積	212.19km ²
団員	定数280人
実数	276人(うち女性9人)

消防団等地域活動表彰〈消防団表彰〉

一基本団員と連携し 災害に強いまちづくりを一

福井県
若狭消防組合 上中消防団

上中消防団は1本部、6分団で組織され常備消防と連携し災害対応を行っている。この度、条例定数を139名から150名に増員し、平成31年4月1日から機能別分団（災害対応班および予防広報班）を新たに創設した。災害対応班は消防団OBであり、これまでの経験を活かし大規模災害時において基本団員とともに住民の安心安全を守っている。また、女性広報班は火災予防運動期間中に防火広報や災害時において応急救護等の後方支援を行っている。



上中消防団機能別分団発足式



秋季消防訓練にて倒壊建物から傷病者の救助活動を実施

DATA

人口	7,445人
面積	82.08km ²
団員	定数150人
実数	148人(うち女性6人)

魅力度・向上宣言！ 安全・安心の魅力度向上を目指して

福井県
若狭消防組合 高浜消防団

高浜町では選ばれる町を目指し魅力度向上に取り組んでいる。高浜消防団でも安全・安心の魅力度向上を目指して、消防団員の確保と大規模災害時の対応力強化、地域の防火防災意識の高揚を図るべく、平成31年4月に機能別分団を設置した。災害対応・予防広報として15名が活動している。自主防災組織の防災訓練や火災予防広報活動等に積極的に参加して、消防団の活性化はもちろん、住民の防火防災意識の高揚を図り、町全体の防災力向上を目指している。



消防出初式観閲式



水防訓練

DATA

人口	10,596人
面積	72.4km ²
団員	定数170人
実数	155人(うち女性0人)

安心して暮らせるまちづくりのための 地域に根ざした取組

長野県
野沢温泉村消防団

野沢温泉村消防団では平成28年4月1日から機能別消防団員制度を設け、団員の確保に努めている。これにより年々減少していた団員数が平成27年の171名から平成31年には190名へと大幅に増加し、地域防災力の向上に大きな役割を担っている。また、防災訓練への参加や防火査察・歳末夜警の実施など地域に密着した活動を行い、地域の皆さんが安心して暮らせるまちづくりに貢献している。



野沢温泉村消防団観閲式での市巾行進

防災訓練での放水体験の様子

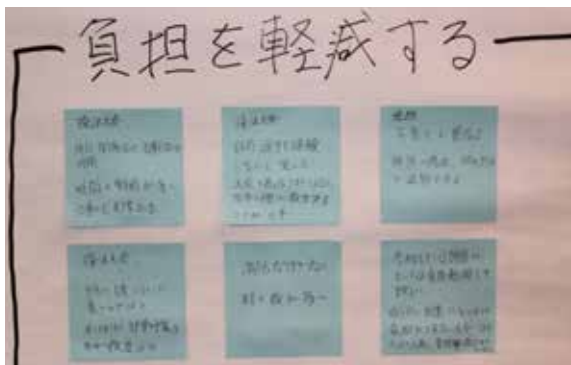
DATA

人口	3,479人
面積	57.96km ²
団員	定数225人
実数	190人(うち女性4人)

自分たちの村は自分たちで守る

長野県
朝日村消防団

普段8割の団員が村外に働きに出ているため、消防団活動において大変な所はあるが、家族・地域・会社などの理解を頂き、年間を通して「朝日村は、自分たちで守る」精神のもと総合訓練や模擬火災訓練などの有事に備えた訓練に取り組んでいる。時代に即した消防団活動をするために、幹部以上による「幹部オフサイトミーティング」を実施し、現状の課題、問題を拾い上げそれぞれに対する施策を皆で考え共有し、課題に取り組んでいる。また、昨年台風19号で被災した長野市へも朝日村消防団としてボランティア活動を実施した。



朝日村消防団が長野市への災害ボランティア活動を実施している様子

オフサイトミーティング内のフリートークで出た意見張り出しの様子

DATA

人口	4,462人
面積	70.6km ²
団員	定数170人
実数	163人(うち女性1人)

機能別消防団の発足

岐阜県
恵那市消防団

平成27年度に消防団に関する条例を一部改正し機能別消防団を発足。38名の団員を確保し、翌年平成28年度に団員増加により総務大臣感謝状受賞。高齢化及び過疎化が進む中、団員の確保に取り組んでいる。機能別消防団にあつては、年々団員を増やし令和元年7月1日現在214名である。



平成28年12月総務大臣感謝状贈呈式で感謝状を受けとる安藤団長

平成27年12月恵那市消防団機能別消防団発足式で挨拶をする可知義明前恵那市長

DATA

人口	51,073人
面積	504.24km ²
団員	定数1,400人
実数	1,202人(うち女性40人)

「自分のからだは自分で守る」 ～防火・防災教育は幼少期から～

愛知県
東海市消防団

紙芝居、防災教育カードを用いた「防災ダック」は、市内の園児を対象とした幼児防災指導であり、自助の心を幼少期から芽生えさせること、災害対応一次行動を身に付けることを目的とした人気の出前講座となっている。

紙芝居は台本、絵ともに団員の手作りで、登場キャラクターになりきって演じることで子どもたちは真剣に見入っている。一緒に大きな声を出し、全身を使って楽しく学べる防災ダックも大変好評をいただき、今後も普及啓発を展開していく。



女性団員が提示したカードに合わせて身振り手振りで真剣に取り組む子どもたち

各種訓練のほか、女性団員だけで毎月自主的に定例会議を開催し、予定の確認や今後の活動方針の確認を行っている

DATA

人口	111,944人
面積	43.43km ²
団員	定数198人
実数	197人(うち女性15人)

地域に密着した消防団活動

京都府
笠置町消防団

町内巡回パトロールや消火訓練のほか、団員が住民の声を直接聞き取ることができる小規模自治体ならではの特性を活かし、町内全世帯を対象に火災予防や防災等の啓発活動等を実施している。

活動内容は、火災予防・防災を呼びかける配布物を町内全世帯に訪問・配布し、住民の火災や防災意識の向上を図るもので、対話の中で住民の意見を取りまとめ、今後の活動に活用している。今年度は、昨年度の意見を参考に、車椅子や福祉車両の取扱いに関する訓練等を実施した。



団員が町内全世帯に訪問する防火啓発活動

車椅子や福祉車両の取扱いに関する訓練等を実施

DATA

人口	1,368人
面積	23.52km ²
団員	定数110人
実数	99人(うち女性0人)

新時代にも柔軟に対応する 地域密着型の消防団「ONE TEAM 富田林市」

大阪府
富田林市消防団

富田林市消防団は、平成25年11月に大阪府下初となる特殊技能隊(重機隊)を発足したことにより、常備消防と密に連携した災害活動体制を構築すると共に、自主防災組織や地域住民に対しても訓練指導や防災広報等を実施し、災害に強いまちづくりに大きく貢献している。

また、郷土愛護の精神をもって、分団毎で様々な創意と工夫を凝らした手段で、積極的に消防団員募集を行い団員の確保に繋げ、絶えず地域防災力の充実強化に努めている。



大規模災害に備え解体予定地を使用した消防団と消防署との連携活動訓練

富田林市防災フェアにて、消防団員募集と防火に対する関心を深めるための広報活動を実施

DATA

人口	114,076人
面積	24.70km ²
団員	定数350人
実数	306人(うち女性0人)

消防団等地域活動表彰〈消防団表彰〉

自分たちのまちを、 自分たちで守る

岡山県
総社市消防団

総社市の女性消防団員(kibikibiレディース)は保育園、幼稚園を対象に幼児の防火教室、一人暮らしの高齢者宅への訪問防火診断や防火指導、応急手当の知識や技術の習得をし、救急救命士とともに住民への普及活動など地域に密着した活動を実施している。

男性消防団員が減少している一方、このような活動を行うことで、女性消防団員の知名度が高まり、興味を持ってくれる市民が増え、団員増加の促進に繋がっている。



kibikibiレディースによる啓発劇の様子

一人暮らし高齢者宅への防火訪問の様子

DATA

人口	66,855人
面積	211.90km ²
団員	定数1,020人
実数	1,000人(うち女性50人)

地域防災に貢献する消防団

山口県
宇部市消防団

地域防災の核となる人材育成を目指し、平成29年1月に発足した消防防災サポーターは大学生を対象とし、普通救命講習の受講、地域の防災訓練への参加、消防体験、消防団加入促進活動等を行っている。この取組が多くの学生から共感を得られ消防団員の確保、消防団活動の理解、また、人材の育成及び地域防災力の強化に努めている。



防災訓練を見学する消防防災サポーター

放水体験をする消防防災サポーター

DATA

人口	169,429人
面積	286.7km ²
団員	定数820人
実数	730人(うち女性118人)

『女性はしご乗り』による入団促進大作戦!! 及び 防火訪問に併せた救急・防災啓発!!

福岡県
北九州市門司消防団

門司消防団では、日本三大港祭りである「門司みなと祭」等の集客力の高いイベントで、全国でも珍しい女性消防団員による「め組はしご隊」を中心に入団促進大作戦を展開するなどして、団員の充足率をほぼ100%維持している。

また、住宅訪問事業(いきいき安心訪問)において、女性消防団員が民生委員等と連携し、防火に加え、『救急』や『防災』について啓発・指導を行い、地域住民の自主防災意識の向上に努めている。



「め組はしご隊」による入団促進大作戦!!

DATA

人口	99,637人
面積	73.67km ²
団員	定数338人
実数	336人(うち女性23人)

ひとり暮らし高齢者宅の
訪問事業

北九州市若松消防団女性消防団員 「カップ・ファイヤーズ」による防火・防災劇

福岡県
北九州市若松消防団

若松女性消防団員は、昭和63年10月第一期生を採用し、平成4年防火劇による火災予防広報をより広くアピールすべく、若松区の民話として伝わる河童伝説にちなみ「カップ・ファイヤーズ」と命名して活動を開始。現在は年間3～5回の公演を継続し、他都市での公演実績もあり、総公演回数は100回を超えている。さらに、応急手当普及員の資格も取得し市民指導を実施している。また、年に数回高齢者世帯を訪問し、防火防災指導も行っている。



「水戸黄門」の防火・防災劇で「火の用心」

DATA

人口	82,844人
面積	71.31km ²
団員	定数222人
実数	222人(うち女性17人)

平成30年3月春の火災予防運動連絡会で平成29年度全国統一防火標語を観劇者に対し周知している様子

団員たちがつくる消防団広報誌

福岡県
小郡市消防団

小郡市消防団では、消防団加入促進の取り組みの一つとして、消防団広報委員会による広報誌作成を行っている。広報委員会は15名の団員で組織され、消防団広報誌の企画・立案・作成等を団員が自ら行う。完成した広報誌は、市の広報紙に折り込んで市内全戸に配布した。

若手団員とベテラン団員の対談形式でインタビューを実施し、入団したきっかけや消防団活動への想いを記事にした。また、女性団員の活動内容を記事に盛り込み、新入団員・女性団員の募集・促進を図った。



消防団員へインタビューをしている様子

防災訓練で消防団員が積み土の工法を行っている様子
(消防団広報誌に掲載)

DATA

人口	57,983人
面積	45.51km ²
団員	定数255人
実数	248人(うち女性11人)

支援団員制度を導入し、地域防災力の向上を目指す

佐賀県
吉野ヶ里町消防団

吉野ヶ里町消防団では、平日昼間の火災やその他の災害発生時に消防団員の多くが町外へ働きに出ているため、初動体制の確保が難しくなっている。そのため、令和元年度から支援団員制度を導入し、消防力の強化に取り組んでいる。消防団員又は消防吏員の経験が10年以上あり、かつ50歳以上70歳未満の方に支援団員として入団してもらい、地域に根付いた消防団活動はもちろんのこと長年の経験を生かし、後輩団員の指導にも力を注いでいる。



夏季訓練において各部で放水の速さを競う放水訓練

出初式において長年受け継がれている馬簾まわし

DATA

人口	16,411人
面積	43.99km ²
団員	定数499人
実数	465人(うち女性23人)

地域の安心安全のため 消防団活動に貢献

北海道
美幌町森林組合

当事業所は、永年にわたり複数の従業員が入団しており、現在10名の従業員が在籍している。従業員が消防団活動に参加しやすくするため、災害発生時の就業時間の調整、消防団行事における優先的な参加など、消防団に対して深い理解を示すとともに、消防団の役割、重要性について広く周知しており、消防団員数の維持確保にも貢献している。さらに、事業所として日頃より山林火災の予防に努めるとともに、地域住民にも林野火災発生防止のため普及啓発するなど、地域の防災力向上などに大きく貢献している。



平成30年全国消防操法大会
出場(控え選手含む9名中5名
が当該事業所団員)

DATA

所在地	北海道網走郡美幌町
人口	20,296人
面積	438km ²
業種	林業
従業員	61人
うち団員	10人
美幌消防団	10人(うち女性0人)

地域の安全安心を守り、 地域防災力の向上に貢献

群馬県
前橋市農業協同組合

当事業所は平成9年3月に前橋市と「災害時における応急生活物資提供等に係る協定書」を締結し、地震等の災害時に被災した市民等に対し、支援物資(飲料水、缶詰等)の供給可能態勢を保持している。また、平成23年3月に発生した東日本大震災では、被災地支援の一環として前橋うどん300ケース及び野菜15品目(総重量9トン)を被災地へ提供した。

現在、29名の従業員が消防団員として活動しており、彼らが積極的に消防団活動へ参加できるよう服務態勢を配慮し、消防団の充実強化に寄与している。



消防庁消防団協力事業所に認定された際の集合写真

DATA

所在地	群馬県前橋市
人口	336,154人
面積	311.59km ²
業種	団体・連合会
従業員	670人(臨時職員含)
うち団員	29人
前橋市消防団	29人(うち女性0人)

消防団等地域活動表彰〈事業所表彰〉

地域の安全・安心に 積極的に協力している事業所

東京都
株式会社 八洋

震災等の大規模災害時における消防団員の重要性を深く理解し、事業所団員の入団促進を積極的に推進している。消防団行事関係に積極的に参加し、防災意識の高揚と地域防災力の向上に寄与している。牛込消防団に所属する消防団員全員が上級救命講習を修了し、地域の防災力向上に寄与するとともに、消防活動技術及び知識の向上に積極的に取り組んでいる。また、大規模災害時には、地域と一体となった活動を行うとともに飲料水の提供等、消防署との物資支援協定を結んでいる。



消防団行事(団始式、操法大会、合同点検等に積極的)に参加し、防災意識の高揚と地域防災力の向上に寄与している

DATA

所在地	東京都新宿区
人口	333,560人
面積	18.22km ²
業種	サービス業
従業員	90人
うち団員	11人
牛込消防団	11人(うち女性3人)

消防団活動に 積極的に協力する事業所です

神奈川県
株式会社大津スイミング企画

地元に着したスイミングスクールとして親しまれ、地域貢献の一環として消防団事業にも協力しており、現在、社員の中には消防団員が12名在職している。活動内容としては、消防団の行事・各種基礎訓練、出初式、ポンプ操法訓練・中継送水訓練等の訓練や、夏祭りや地域の行事などの警備活動・防火・防災指導等の地域活動などを基本団員とともにやっている。また、大規模災害時等にはプールの水を消火活動用水として提供するように地元の消防署と協定を締結している。



在籍(勤務)している消防団員と消防職員との連携活動による消火活動を定期的実施している

DATA

所在地	神奈川県横浜市港南区
人口	215,736人
面積	19.862km ²
業種	サービス業
従業員	42人
うち団員	12人
横浜市消防団	8,114人(うち女性1,376人)
横浜市港南消防団	12人(うち女性3人)

地域の中に存在する事業所として、 私達ができる社会貢献を実践していきます

新潟県
社会福祉法人 桜井の里福祉会
高齢者総合生活支援施設 はな広場

地域の中に存在する事業所として、私達ができる社会貢献を実践してきた。消防団活動もその中の一つである。給与規程で定めた消防団活動手当を毎月支給しており、出勤については勤務として認めている。

法人として消防団活動以外にも社会貢献に力を入れており、災害介護派遣チームを常設し、東日本大震災をはじめ、鬼怒川水害や熊本地震の際には被災地の介護施設に職員を派遣してきた。他にも施設の浴室を公衆浴場として地域の方に開放することや、地域サロンの送迎支援など様々な社会貢献活動に取り組んでいる。



消防団員として活動する職員の集合写真(法人全体として46事業を展開しており合計18名が消防団員として活動中)

DATA

所在地	新潟県燕市
人口	79,784人
面積	110.96km ²
業種	社会福祉事業
従業員	48人
うち団員	6人
燕市消防団	6人(うち女性1人)

消防団活動に 積極的に協力している事業所

石川県
株式会社タキノ工業所 穴水工場

本事業所では、若手職員に対して、地域貢献のため、積極的に消防団に入団することを薦めている。

また、消防団員である従業員が、就業時間中に火災等災害出動した場合は、有給休暇を与え、健康管理に寄与しており、消防出初式、消防団行事に対して積極的に参加できるように支援を行っている。



出初式は、1年間の無火災と町民の皆様の安心・安全を祈願するとともに、消防職員・消防団員が、消防ポンプ自動車による一斉放水を通じて、災害に立ち向かう「穴水町消防団」の勇姿を披露する

DATA

所在地	石川県鳳珠郡穴水町
人口	8,786人
面積	183.21km ²
業種	製造業
従業員	47人
うち団員	6人
輪島市消防団	2人(うち女性0人)
穴水町消防団	4人(うち女性0人)

消防団等地域活動表彰〈事業所表彰〉

消防団活動を積極的に支援 地域防災に貢献していきます

長野県
有限会社 志賀プラントサービス

現役消防団員、消防団経験者が多数在籍し、役員自ら機能別団員として消防団活動を積極的に行なうなど従業員の消防団活動に対し深い理解を示し、就業規則にも明記している。

災害発生時には消防団員を迅速に派遣できるよう配慮、会社全体でサポートする体制を整えている。

私たちは、企業理念に基づき地域の防災体制の充実に資すると同時に、地域社会の一員として消防団の活動への参加を通じて、安心と安全へ貢献していく。



DATA

所在地	長野県山ノ内町
人口	12,429人
面積	265.90km ²
業種	衛生業
従業員	24人
うち団員	6人
山ノ内町消防団	6人(うち女性0人)



式典で旗手を務める分団長の社員

地域防災に貢献する事業所

岐阜県
協業組合 H・C建設

本事業所は、安全で安心な社会基盤と生活環境の整備を通じて、社会に貢献することを目指している。従業員である消防団員が勤務中であっても消防団活動への出動を認めており、就業規則において特別休暇を認める配慮をするなど、消防団員が活動しやすい環境を整えている。また、消防操法訓練の練習会場として駐車場の提供や、有事の際には事業所の資機材等を消防団に提供するなど協力的で、地域防災力の向上に積極的に貢献している。



DATA

所在地	岐阜県飛騨市
人口	24,696人
面積	792.53km ²
業種	建設業
従業員	43人
うち団員	15人
飛騨市消防団	15人(うち女性0人)



毎年救急法を受講されており、救命に対する意識が高い事業所である。今年度の受講の様子

地域に貢献し、 地域と共に繁栄する企業を目指します

静岡県
株式会社 下田電化設備工業

火災・水防等の災害出動や行方不明者捜索の際は、日数に関わらず出勤扱いとして対応している。消防団員を抱える企業ができる地域貢献の一環として、消防操法に係る訓練や大会への選手輩出や本部訓練指導員への出向など、本人の意思を尊重し、積極的にバックアップをしている。

消防設備工事業も営んでおり、消防施設資格取得のために補助金の支給や年々変化する法改正に対応するため、各種講習会への参加促進、知識向上を図っている。



令和2年下田市消防団出初式の様子

DATA

所在地	静岡県下田市
人口	22,916人
面積	104.38km ²
業種	小売業、建設業
従業員	12人
うち団員	5人
下田市消防団	5人(うち女性0人)

島を愛し、島を守る若者を応援する船団 山口県萩市大島 大福丸

山口県
有限会社 大福丸

従業員が消防活動を行う際は、勤務者が地域での消防団活動を優先的に行えるよう出動等に対する配慮をしている。また、実例は無いものの、有事の際には事業所の船舶等の使用を可能としており、事業所全体としての支援をしている。また、消防団行事関係、ポンプ操法訓練、高齢者防火指導等の平時の活動に対して、特別な配慮をしている。



大福丸をバックに田中稔久社長と共に

DATA

所在地	山口県萩市
人口	49,560人
面積	698.31km ²
業種	漁業
従業員	19人
うち団員	7人
萩市消防団	7人(うち女性0人)

消防団等地域活動表彰〈事業所表彰〉

島嶼部の安全安心を守り、 地域防災力の向上に貢献します

愛媛県
株式会社池田水道

当事業所の消防団員は全員が島嶼部の分団に所属しており、災害発生時には事業所をあげて迅速に対応するなど、少子高齢化が進む管轄地区にて地域防災力の向上に大きな役割を担っている。

事業所としても消防団に対する理解が深く、災害出動はもとより各種訓練や出初式等の消防団行事にも参加しやすい職場環境が整えられているほか、従業員の消防団への入団も積極的に推進しているなど本市消防団の充実強化へ大きく貢献している。



DATA

所在地	愛媛県松山市
人口	514,865人
面積	429.40km ²
業種	水道業
従業員	8人
うち団員	5人
松山市消防団	5人(うち女性0人)

池田博通社長が分団長として
受賞した表彰状(旧中島町)



北九州市域海上の 安全安心を守る事業所

福岡県
第一港運株式会社

当事業所には、北九州市洞海湾消防団長が在籍し、団員13名が所属しており北九州市で唯一の海上消防団本部の機能を有している。海上災害等発生の際は、会議室を本部として使用し、消防協力艇(8艇)を出動させ、消防団活動を積極的かつ協力的に取り組んでいる。また、災害時には陸上からの局面指揮を執るために、洞海湾消防団本部指揮車を所有運用している。北九州市域一帯の海上防災及び地域の消防防災体制の充実強化に寄与している。



DATA

所在地	福岡県北九州市
人口	961,286人
面積	491.95km ²
業種	港湾運送事業
従業員	68人
うち団員	13人
北九州市洞海湾消防団	13人(うち女性0人)

消防協力艇(竜昇二号)



消防団員として培った技術と経験を基に、安全・安心なまちづくりを目指す

大分県
佐伯重工業 株式会社

地域における消防団の役割を認識し、就業中であっても有事の際には、速やかに出動できる体制を整備しており、出動した場合には、代休を取得しやすいように社内規則を定めている。また、従業員の入団促進や、訓練の参加等に積極的に取り組み、消防団活動への配慮も行われている。日頃から、事業所内で大型船舶火災を想定した119通報訓練や、消火訓練、避難誘導訓練等を計画的に実施し、消防防災体制の充実強化を図り、消防団協力事業所として、安全・安心なまちづくりに貢献している。



大型船舶火災を想定した消火訓練を実施

DATA

所在地	大分県佐伯市
人口	72,211人
面積	903.12km ²
業種	造船業
従業員	241人
うち団員	28人
佐伯市消防団	28人(うち女性0人)

令和元年度
消防庁消防団
協力事業所表示証
交付団体
38事業所等

掲載内容は、各団体から提供のあった原稿及び写真等に基づき作成

消防団活動への協力を通じた 地域の消防防災力の一層の充実強化

北海道
北るもい漁業協同組合 羽幌本所

北るもい漁業協同組合 羽幌本所は、勤務時間外の消防団活動や行事(演習・訓練等)に対して積極的に参加を促している。例として、消防組合内の他町村消防団と消防技術を競い合う技能訓練大会にも多数参加し、事前訓練から技術の向上に励み、大会では好成績を収めるなどしている。

また、近年の当事業所からの入団数は増加傾向にあり、消防団の人員確保にも努めていることは勿論のこと、消防団纏組への入会も勧めるなど、多方面に渡り消防団活動に取り組んでいる。



各種器具へのロープ結索の速さと正確性を競う訓練競技
(技能訓練大会での様子)



DATA

所在地	北海道羽幌町
業種	漁業協同組合
従業員	50人
うち団員	6人
羽幌消防団	6人(うち女性0人)

地域防災体制の充実強化に貢献

北海道
株式会社 堀川清掃

当社は、11名の従業員が消防団に在籍しており、火災発生時には自社の保有する大型水槽車などを活用し、機能別消防隊特別水槽部隊として消火活動の支援を担っている。勤務中に出勤要請があった場合には、可能な限り消防団活動を優先させ、勤務時間として出勤できる体制を整えている。また、消防団活動のみならず、断水時に役立てようと飲料水運搬車を整備するなど、地域における防災体制の充実強化に寄与している。



機能別消防隊特別水槽部隊と
消防署との連携訓練の様子



DATA

所在地	北海道長万部町
業種	清掃・廃棄物処理業
従業員	15人
うち団員	11人
長万部町消防団	11人(うち女性0人)

農協の組合員に向け火災予防啓発を行う 地域に根差した消防団活動

北海道
中春別農業協同組合

10名の職員が消防団に入団しており、各種災害発生時には勤務中であっても災害対応できるよう協力をいただくなど、消防団活動の中核を担っている。所属分団の訓練にも積極的に参加し、消防団内で実施している操法訓練大会へは毎年隊員を選出するなどし、消火技術の向上に努め、地域防災体制の充実強化に寄与している。また、春と秋の火災予防運動期間中に農協の組合員に向け、火災予防の啓発チラシをFAXで周知するなど、組合内においても広く火災予防啓発に取り組んでいる。



消防団内の操法訓練大会に出場する様子

DATA

所在地	北海道野付郡別海町
業種	特殊法人等公務員に準ずる職
従業員	53人
うち団員	10人
別海消防団	10人(うち女性0人)

地域に貢献をモットーに安心・安全を守るべく 防災体制強化に協力

北海道
社会福祉法人 清水旭山学園

当事業所は、地域に貢献することを理念に多岐にわたり様々な活動を行っているなかで、消防団には11名が在籍している。消防団活動においては、災害出動はもとより、月2回実施される定期訓練や演習、出初め式のほか、消防団活性化事業や親睦行事など各種行事へ積極的に参加ができるよう勤務免除や勤務ローテーションの配慮を行うなどし、事業所全体でサポート体制を充実させ、地域の安心・安全のため防災体制の充実強化に積極的に取り組んでいる。



清水消防団の出初式で行われる伝統「はしご登梯」で勇ましく妙技を披露する乗り手2名が当事業所に勤務する従業員

DATA

所在地	北海道清水町
業種	社会福祉業
従業員	109人
うち団員	11人
清水町清水消防団	6人(うち女性0人)
清水町御影消防団	5人(うち女性0人)

元気で明るく楽しい高齢者施設と 安心して暮らせるまちづくりを目指して

北海道
社会福祉法人足寄町社会福祉協議会
高齢者等複合施設 むすびれっじ

当事業所は、要介護者や認知症の高齢者が利用する高齢者等複合施設であり、施設開設以来、自衛消防組織を設置するとともに、町外採用の4名の介護職員が消防団に入団している。

事業所内では消防団活動参加に向けた職員間の協力体制が構築され、本年度は町外の新規採用介護職員2名が新たに入団し、防火対策や消防団活動にも積極的に参加している。また、事業所も消防団活動日を公休にするなど、勤務シフトの配慮を行い、職員の出勤体制を構築することで地域防災力の向上に大きく寄与している。



勤務する消防団員が消防演習に参加する様子



DATA

所在地	北海道足寄郡足寄町
業種	介護施設
従業員	48人
うち団員	6人
足寄消防団	6人(うち女性0人)

「私たちが暮らすまちを、安全でより住みよいものに」 消防団活動を積極的に支援します

青森県
青森総合警備保障株式会社むつ営業所

当事業所が掲げる、「地域の安全・安心を守る」と共通する消防団活動の重要性を十分認識し、従業員が積極的に消防団活動へ参加できる職場環境を構築している。

また、消防団員である従業員の勤務中に災害が発生し出勤が必要となれば、消防団活動を優先できるように支援をしている。

警備業を営む消防団協力事業所として、各種消防団行事への参加等、消防団員への協力体制を図り、「安全・安心なまちづくり」を目指している。



社内消防訓練風景



DATA

所在地	青森県むつ市
業種	サービス業
従業員	59人
うち団員	6人
むつ市消防団	6人(うち女性0人)

消防団活動を積極的に支援し、地域の安全・安心に貢献します

青森県
日本ホワイトファーム株式会社

地域社会に根差し、人々の楽しく健やかなくらしに貢献する理念のもと、当事業所就業中の消防団員に対し管轄区域内での火災等の災害出動要請があった際には、いち早く地域のために活動できるよう職場環境の整備を図るとともに、職員の出動に対する理解促進を積極的に推し進めている。

さらには、地域貢献の一環として、出初式や消防操法大会をはじめ、各種行事・訓練等への参加にも積極的にバックアップをしている。



むつ市消防団出初式における、
まとい振り奉納

DATA

所在地	青森県横浜町
業種	サービス業
従業員	560人
うち団員	25人
むつ市消防団	25人(うち女性0人)

消防団員を支援し、地域の安心と安全に貢献します

青森県
有限会社川西商会

当事業所は消防団活動の重要性を認識し、地域住民の安心・安全を守るため、積極的に地域の活動に参加するよう取り組んでいる。また、消防団活動を通じた地域への社会貢献活動を積極的に実施しており、災害が発生した場合には、消防団員である従業員が優先して災害活動に従事できるように勤務体制を整えている。また、出初式や観閲式などの消防団行事や祭典警戒など、地域の防災活動を積極的に支援している。



むつ市消防団出初式における、
市長観閲風景

DATA

所在地	青森県むつ市
業種	サービス業
従業員	23人
うち団員	5人
むつ市消防団	5人(うち女性0人)

令和元年度 消防庁消防団協力事業所表示証交付

～ 夢、希望、子供達の未来へ ～ 地域に貢献！消防団活動！！

宮城県

株式会社 環境開発公社エムシーエム

当社では、消防団活動の重要性を理解し、消防団員の災害関係の出動や消防団関連の訓練や行事については、率先して参加することとし、夜間に出動した翌日は休みを取らせるなど消防団活動を優先できる職場体制を整えている。また、業務の一環として、消防団員が中心となり定期的に講習会を行うなど消防団員以外の従業員にも防災意識を持ってもらい、会社全体で地域に貢献すべく日々取り組んでいる。



社内防災訓練



DATA

所在地	宮城県大崎古川北宮沢字
業種	廃棄物処理業、建設業
従業員	42人
うち団員	7人
大崎市消防団	6人(うち女性0人)
加美町消防団	1人(うち女性0人)

消防団活動を支援し、 【地域の未来(あす)に安全と安心を繋ぐ(つなぐ)】

山形県

永井建設 株式会社

当事業所の従業員のうち、7名が新庄を中心とする最上郡内の消防団に在籍している。万が一、勤務時間中に火災が発生した場合には、「緊急時の消防団活動に参加する従業員規定」に基づき速やかに従業員を派遣。社内全体でサポートする仕組みが整備されている。

また、平成22年5月より新庄市消防団協力事業所に認定され、当社の強みを活かした降雪地帯ならではの除雪を始めとした多発する自然災害への迅速な対応・協力を通じて、今後も地域の防災力強化への貢献に努めていく。



請負現場の近隣での火災発生時、迅速な初期消火活動により被害を最小限に止めた功績が認められ、感謝状が授与された



DATA

所在地	山形県新庄市
業種	建設業
従業員	45人
うち団員	7人
新庄市消防団	3人(うち女性0人)
大蔵村消防団	3人(うち女性0人)
戸沢村消防団	1人(うち女性0人)

「個・家族・企業・町」全てがONE TEAM 安心・安全の町づくりに貢献します!

山形県
株式会社 高橋工務店

当社は「地域の信頼にこたえ、地域の期待を超える」をスローガンに積極的に地域貢献を進める中で、特に防災に対しては力を注いでいる。社内の安全行事では消防職員の皆様から防災に対する安全講話や消火訓練等を通して交流を深め、出勤しやすい環境づくりに努めている。災害が発生し消防団として出勤した従業員は、勤務扱いとすることを始め、出勤式、消防演習、春秋火災予防週間、分団査察等の定例行事にも積極的に参加することを奨励している。



従業員が積極的に参加する水防訓練(積み土のう工法)

DATA

所在地	山形県小国町
業種	建設業
従業員	62人
うち団員	12人
小国町消防団	12人(うち女性0人)

地域の消防防災力向上のため、 事業所一丸となって!

群馬県
佐波伊勢崎農業協同組合

当事業所は農業協同組合として経営理念のひとつに「地域との共生」を掲げ、地域防災活動への参加を奨励している。当事業所の管内には2つの消防団があり、伊勢崎市消防団には26名、玉村町消防団には6名、併せて32名の職員が在籍し、積極的に消防団活動に取り組んでいる。

全国的に消防団員不足が叫ばれるなか、消防団を退団した職員も多くOBとして側面から現役団員をサポートし、火災や災害はもとより消防訓練や各行事への参加を職場全体で支援している。



秋季消防点検の様子

DATA

所在地	群馬県伊勢崎市
業種	農業協同組合
従業員	376人
うち団員	32人
伊勢崎市消防団	26人(うち女性0人)
玉村町消防団	6人(うち女性0人)

地域の中に存在する事業所として、 私達ができる社会貢献を実践していきます

新潟県
社会福祉法人 桜井の里福祉会
高齢者総合生活支援施設 はな広場

地域の中に存在する事業所として、私達ができる社会貢献を実践してきた。消防団活動もその中の一つである。給与規程で定めた消防団活動手当を毎月支給しており、出勤については勤務として認めている。法人として消防団活動以外にも社会貢献に力を入れており、災害介護派遣チームを常設し、東日本大震災をはじめ、鬼怒川水害や熊本地震の際には被災地の介護施設に職員を派遣してきた。他にも施設の浴室を公衆浴場として地域の方に開放することや、地域サロンの送迎支援など様々な社会貢献活動に取り組んでいる。



消防団員として活動する職員の集合写真(法人全体として46事業を展開しており合計18名が消防団員として活動中)

DATA

所在地	新潟県燕市
業種	社会福祉事業
従業員	48人
うち団員	6人
燕市消防団	6人(うち女性1人)

地域防災力の向上に努め、地域に貢献し、 将来の礎となる人材を育成する

新潟県
新潟医療技術専門学校

学生のうちから地域活動に参加することにより、人と接し、学びながらひとりひとりの地域防災力の向上を図ることを目的として、入学後に消防団へ入団している。

主な活動として、消防・防災イベント時の入団促進広報をはじめ、先輩団員と共に火災予防広報活動にあわせ、自主防災訓練において、応急手当の指導を行うなど、地域に寄り添った消防団活動をして、地域防災力の向上に努めている。



学業の傍ら、学生たちは広報活動を行なう等、積極的に社会貢献をしている

DATA

所在地	新潟県新潟市
業種	専門学校
従業員	54人(学生32人)
うち団員	32人
新潟市消防団	32人(うち女性3人)

消防団への協力を通じた 地域社会貢献

富山県
平野工務店株式会社

当事業所は地域への貢献を社是としており、地域活動に積極的に協力している。また、団員（従業員）が緊急出動や訓練等の場合、他の従業員が補う協力体制を日頃からとっており、消防団消防操法大会の選手に選出されれば、深い理解を示し、約3ヵ月もの間の訓練に気兼ねなく参加できるよう配慮しているほか、地元消防団等への事業所が所有する資機材を積極的に貸出している。



救命講習を受講する平野工務店(株)協力会社の会、平工会

DATA

所在地	富山県黒部市
業種	建設業
従業員	26人
うち団員	5人
黒部市消防団	2人(うち女性0人)
魚津市消防団	1人(うち女性0人)
入善町消防団	2人(うち女性0人)

「地域貢献」をモットーに 社員全員で消防団に協力しています！

長野県
ナパック株式会社

ナパック株式会社は、昭和41年の創業以来「良い仲間、良い考え、良い仕事」の経営理念のもと、粉末冶金製品や希土類ボンド磁石製品の製造を行っている。

従業員のうち12名が消防団に在籍しており、消防団活動を安心して行えるよう、休暇制度を就業規則に明記するなど、働きやすい環境づくりに努めている。

また消防団のポンプ操法訓練に自社の駐車場を提供しており、社を挙げて消防団活動に貢献している。



観閲式の様子

DATA

所在地	長野県駒ヶ根市
業種	製造業
従業員	137人
うち団員	12人
駒ヶ根市消防団	7人(うち女性0人)
伊那市消防団	4人(うち女性0人)
岡谷市消防団	1人(うち女性0人)

地域防災に貢献する森林組合

岐阜県
恵南森林組合

日頃から地域貢献の一環として、従業員が消防団活動に積極的に参加している。また、会社の行事として救命講習会を定期的に行っているため、従業員全体で応急救護措置に対応できるように高い意識で取り組んでいる。

林業では職業柄チェーンソーを使用するため、台風等の災害による倒木があった場合は倒木処理をしており、災害につながる様な危険木の発生予防のための危険木除去にも対応して地域防災に貢献している。



救命講習受講の様子

DATA

所在地	岐阜県恵那市
業種	林業
従業員	29人
うち団員	5人
恵那市消防団	5人(うち女性0人)

安全・安心な地域社会を目指し、消防団活動を積極的に応援します

岐阜県
明宝特産物加工株式会社

当事業所は、消防団員が25名在籍しており、勤務時間内の災害出動等の対応は勤務扱いとし、災害が発生した場合は、迅速に出動できる体制を整えている。消防出初式や消防本部との合同演習等の消防団活動にも積極的に参加できるよう配慮されている。AEDを事業所に設置し、救急体制の強化にも努めている。

地域社会への貢献を通して、雇用の増進と安全、安心の提供に尽力している。



第68回岐阜県消防操法大会
に出場する

DATA

所在地	岐阜県郡上市
業種	食品製造業
従業員	87人
うち団員	25人
郡上市消防団	25人(うち女性0人)

豊かなまちづくり えごまオイル生産から災害復旧まで

岐阜県
株式会社 熊崎組

災害発生時等の出動について、就業時間中에서도積極的に消防団活動に参加させるよう配慮している。また、災害発生時の資器材等の提供協力している。具体的には、10トン、4トン、2トンドンプ、油圧ショベル、タイヤショベル各1台、スコップ等の土木作業用資材を提供するとともに、操縦技術等を有する従業員を作業員として協力している。



DATA

所在地	岐阜県下呂市
業種	土木工事業
従業員	24人
うち団員	5人
下呂市消防団	5人(うち女性0人)

地域の安心・安全を守る 消防団員の活動を支援しています

静岡県
オルイー株式会社

当事業所は、浜松市の中でも山間地域である天竜区に所在し、林野火災発生時などは地元消防団の活躍が非常に重要な地域である中、当事業所の従業員の多くが地域の消防団に所属しており、地域住民の安心・安全を守るため、積極的に消防団活動に参加するよう取り組んでいる。

また、就業時間中に出勤要請があり、従業員が消防団員として火災・水防等の災害出動をした際は、出勤扱いとして対応するなど、消防団員である従業員が個人的に不利益を被ることの無いよう配慮されている。



林野火災を想定した方面隊訓練の様子

DATA

所在地	静岡県浜松市
業種	電気工事業
従業員	31人
うち団員	7人
浜松市消防団	7人(うち女性0人)

公に尽くす事を尊び、郷土の繁栄と地域社会の安定に 貢献する企業を目指します

愛知県

SafetyManagement株式会社

当社では、経営理念である「公に尽くす事を尊び、郷土の繁栄と地域社会の安定とに貢献」をより具体化し実現するために、社員を積極的に消防団活動に参加させている。業務は公務である消防団活動を優先し、また、業務時間中の火災出動は勿論、休業日に訓練等に参加した場合も、社内規定で勤務時間に含めているため、平日に代休を取得させて対応するなど、消防団活動に参加しやすい環境を整備している。また、当社の取扱い商品であるAEDや防災用品等を災害時に、消防団や地域住民に提供する協定も締結している。



文化財防火デーにて(放水しているのが社長の上原真央氏)



DATA

所在地	愛知県名古屋市
業種	サービス業
従業員	16人
うち団員	6人
名古屋市柳消防団	5人(うち女性1人)
名古屋市名城消防団	1人(うち女性0人)

ふるさと防災のつながりを守る!!! ～人・物・自然で貢献します～

京都府

勧修寺観光農園

当事業所は、名神高速道路沿いの丘陵に広がるブドウ農園である。都市化、高齢化が進む地域で、消防団の地域貢献の必要性・重要性を強く認識し、従業員全員がOBも含め消防団との関わりを持っている。また、都市では難しい実放水訓練を恒常化し、災害発生時には、重機の使用等、現場即応できる体制も整備されている。この他、消防団員家族も含めたハイキングの実施等、消防団全体の福利厚生事業の提供も行っている。



令和元年山林訓練



DATA

所在地	京都府京都市
業種	観光農園業
従業員	14人
うち団員	10人
京都市山科消防団	10人(うち女性0人)

地域に根ざすJAとして、消防団活動を支援し、安全・安心な町づくりに貢献します

大阪府
茨木市農業協同組合

当JAでは、「地域とのつながりを大切にする」を信条としており、地域防災への貢献活動は非常に重要であると考えている。現在、職員の中で消防団員が17名在籍しており、職員が業務中であっても、火災・水防・捜索等の災害出動関係の出動については、特別休暇扱いとして消防団活動が円滑に行えるよう支援している。今後も、持続可能な都市農業と豊かで暮らしやすい安全・安心な地域社会の実現づくりに貢献するため、積極的に消防団活動に協力していく。



消防出初式での消防団による
一斉放水の様子

DATA

所在地	大阪府茨木市
業種	農業協同組合
従業員	130人
うち団員	17人
茨木市消防団	17人(うち女性0人)

「若い力で守ります」 地域密着型防災活動

兵庫県
大栄環境株式会社 三木リサイクルセンター

当事業所は、「地域・環境との共生を図り、社会から必要とされる企業であり続ける」との経営理念・環境理念から、地域の安心安全、地域との共存共栄の取り組みとして消防団活動を支援している。

主な取り組みとして、勤務中に火災や水害などの災害が発生した場合は、団に所属する社員を勤務時間として出動させる体制を整えている。また、自衛消防隊の消防技術習得と向上を目的として消防操法訓練を行うとともに、地域の消防操法大会では会社敷地を提供し、自衛消防隊を出場させて地域消防団の活性に寄与している。



事業所が所在する地区の消防
操法大会に自衛消防隊が出場

DATA

所在地	兵庫県三木市
業種	産業廃棄物処理業
従業員	113人
うち団員	14人
三木市消防団	9人(うち女性0人)
神戸市消防団	3人(うち女性0人)
加古川市消防団	1人(うち女性0人)
小野消防団	1人(うち女性0人)

地域と社会の安全と安心に貢献する 金属加工のトップランナー

和歌山県
株式会社 坂口製作所 和歌山工場

当事業所は、従業員72名中、消防団員が27名と従業員の約38%が消防団員である。

工場では、金属の切断、溶接、組み立て等の工程別に作業を分担しているが、災害発生時には、管轄の消防団員が出動するように指導しており、消防活動で従業員が減少した部署を他の従業員で補うようにしている。

また、消防団員が多数従事しているため当事業所では避難訓練や消火訓練を活発的に行っており消防団員の指導の下に消防訓練も実施している。

人口減少と高齢化が進む過疎地域であることから、従業員には消防団に入団できる職場環境づくりに取り組み地域社会に貢献できるように努めている。



有田川町消防団では3方面隊（支団）で構成されており、従業員には副支団長（副団長）、分団長が勤務しており支団の幹部研修として毎年礼式訓練を行っている

DATA

所在地	和歌山県有田川町
業種	製造業
従業員	72人
うち団員	27人
有田川町消防団	27人（うち女性0人）

豊かな地域社会の実現を目指し、 組織全体で消防団活動を支援します

島根県
島根県農業協同組合 出雲地区本部

私たち職員一同は、「農業振興」「地域振興」および「地域貢献」を積極的に展開し、豊かで暮らしやすい生活環境づくりに取り組んでいる。地域貢献の一環として、消防団活動へ積極的に協力しており、職員内58名が消防団に入団している。勤務時間内においても、災害発生時には速やかに職員が出動できる職場環境を構築し、消防防災体制の充実強化に寄与している。地域になくてはならない存在であるため、組合員・利用者から「信頼され、選ばれ、必要としていただける」JAを目指す。



JAしまね出雲地区本部店舗において、消防団活動のPRと火災予防の普及啓発運動を実施

DATA

所在地	島根県出雲市
業種	総合事業
従業員	1,051人
うち団員	58人
出雲市消防団	58人（うち女性2人）

住民の安心・安全を守るため 消防団活動の重要性を認識する事業所！

岡山県
小堀建設株式会社

平成25年3月に笠岡市消防団協力事業所として認定され、地域防災活動の中核を担う消防団活動の必要性を認識し、地域の安心・安全に努めている。隣接する1市1町に在籍する消防団員も就業しており、従業員の大半が消防団員であり、就業時間内における火災等の災害発生時には、消防団の活動に関しては可能な限り協力している。作業現場や災害時等の不測の事態に対処できることを目的とし、消防職員を講師に迎え救命講習等、積極的な取組も実施している。



不測の事態に対処できるように消防団員である従業員が中心となり、就業時間中に救命講習会等を実施している

DATA

所在地	岡山県笠岡市
業種	建設業
従業員	10人
うち団員	5人
笠岡市消防団	3人(うち女性1人)
浅口市消防団	1人(うち女性0人)
里庄町消防団	1人(うち女性0人)

島民のために頑張る若者を全力で応援します 萩市大島 有限会社松原水産

山口県
有限会社 松原水産

従業員が消防活動を行う際は、勤務者が地域での消防団活動を優先的にいえるよう出勤等に対する配慮をしている。また、実例は無いものの、有事の際には事業所の船舶等の使用を可能としており、事業所全体としての支援している。また、消防団行事関係、ポンプ操法訓練、高齢者防火指導等の平時の活動に対して、特別な配慮をしている。



萩市消防操法大会。従業員も選手として出場し、見事優勝した

DATA

所在地	山口県萩市
業種	漁業
従業員	17人
うち団員	6人
萩市消防団	6人(うち女性0人)

地域の食と農を守るとともに、安全安心なまちづくりと防災力向上に貢献します

福岡県
南筑後農業協同組合

当JAは、「くらしに豊かさ、心にやすらぎ、地域に根ざしたJAみなみ筑後」をモットーに地域の農業の発展と豊かで暮らしやすい地域づくりの実現のため事業を行っている。また、事業継続計画(BCP)マニュアルを策定しており、その中には災害発生時の出勤可否について地域貢献活動として消防団活動への参加による災害復旧活動の場合は、出勤不要とすると定めていることや、管内での火災や水害等、災害関連の際は出勤扱いで対応するなど積極的に消防団活動へ取り組めるような環境を整えている。



JAの施設である米麦共同乾燥貯蔵施設(CE)で火災が発生したことを想定し、消防団による消防演習を行う。



DATA

所在地	福岡県みやま市・大牟田市
業種	総合事業
従業員	280人
うち団員	26人
みやま市消防団	17人(うち女性0人)
大牟田市消防団	7人(うち女性0人)
八女市消防団	2人(うち女性0人)

地域防災の要である消防団を積極的に支援し、地域に安全・安心・やすらぎを提供します

福岡県
社会福祉法人いわき福祉会
複合型福祉施設 プロムナードとばた

当事業所は、特別養護老人ホーム、認知症対応型グループホーム、小規模多機能型事業所、障がい福祉サービス事業所を運営している。消防団の重要性を十分に認識し、従業員が消防団員活動と本業を両立できる環境を整えている。

勤務中における火災等の出勤はもちろん、訓練や研修でも職務免除や特別休暇を取得できる。また、事業所内において基準を満たした消防団員への表彰制度を導入し、消防団活動の機運を高めている。

消防団を積極的に支援することで、地域住民や施設利用者に安全、安心、やすらぎを提供している。



消防署・消防団・自衛消防隊合同訓練の様子



DATA

所在地	福岡県北九州市
業種	福祉業
従業員	60人
うち団員	8人
北九州市戸畑消防団	8人(うち女性2人)

廃棄物処理業と消防団活動を通じて 地域の環境と安心安全を守る！

福岡県
吉永商店株式会社

当事業所は地域の消防団活動に従業員である消防団員を積極的に参加させている。また、機材の提供を行い、地域の防災力向上に努めている。

災害等発生する恐れのある場合は、従業員である消防団員が町内を巡回し広報・啓発活動を行い、災害が発生した場合においては、町民の避難誘導・交通整理等を行っている。

また、町と災害協定を結んでおり災害時に発生した災害廃棄物の収集・運搬及び機材の提供等を行っている。



緊急時に備え普通救命講習を実施



DATA

所在地	福岡県広川町
業種	リサイクル業
従業員	25人
うち団員	6人
広川町消防団	6人(うち女性0人)

地域防災力向上に積極支援 消防団活動を通じて安全・安心なまちづくりを！

福岡県
たくみ株式会社

我々、たくみ株式会社では、従業員33名中6名が直方市消防団に所属しており、火災・風水害等により消防団出動要請がかかった際、業務中であっても勤務扱いで出動させており、地域防災の要として住民の安全と安心を守るため、日夜消防団活動を行っている。

また、大規模災害発生時には、地域の緊急避難場所として開放することを自治会等とも取り決めており、災害発生を想定した事前連携に関しても、積極的に行っている。



事業所所属消防団員による定期訓練の様子



DATA

所在地	福岡県直方市
業種	サービス業
従業員	33人
うち団員	6人
直方市消防団	6人(うち女性0人)

地域を守る消防団を 支援する企業でありたい

佐賀県
祐徳建設興業株式会社

当事業所の従業員が消防団活動を行う際には、就業中であっても従業員が地域での消防団活動を優先的にできるように、出勤等に対する配慮をしている。火災・水防・捜索等の災害発生時には、土のう・ハンマー・オイルマット・スコップ等を消防団へ提供し、消防団活動へ協力する体制を整備している。当事業所の幹部従業員が積極的に消防団へ入団することで、従業員への入団促進を促しており、団員確保へ寄与している。



当事業所の従業員も参加した
佐賀市消防団中部方面隊の火
災想定訓練の様子

DATA

所在地	佐賀県佐賀市
業種	建設業
従業員	24人
うち団員	5人
佐賀市消防団	5人(うち女性0人)

地域の人々の安心と安全に 貢献する企業でありたい

佐賀県
株式会社ライフラインコネクト

当事業所では、役員及び従業員の5名が佐賀市消防団の団員として活動している。災害出勤時には、就業時間内であっても出勤扱いとし、業務免除とするなど、地域の人々の安心と安全に貢献する消防団活動に協力をしている。

また、災害発生時には、当事業所が所有している重機(バックホウ等)の他、投光器や発電機等の資機材や駐車場を消防団へ提供するなど、消防団活動へ協力する体制を整備している。

当事業所では、従業員へ消防団の入団促進を促しており、団員確保へ寄与している。



当事業所の従業員も参加した
佐賀市消防団中部方面隊の訓
練の様子

DATA

所在地	佐賀県佐賀市
業種	建設業
従業員	49人
うち団員	5人
佐賀市消防団	5人(うち女性0人)

地域の防災力向上を図るため、 消防活動を支援する

長崎県
小浜自動車工業有限会社

当社は、地域防災の要である消防団の活動を積極的に支援している。

また、社会的問題である人口減少、高齢化社会により消防団員数が減少している現在、消防団に入団しやすい環境、活動しやすい環境を整備している。有事の際、即時に出動できるように職場間で連携を図るとともに、消防団行事や訓練等に出動しやすい職場づくりを行っている。

地域住民の安心・安全を守る重要な役割を担っているのは消防団員であることを深く理解し、社員が消防活動に専念できるよう、事業所全体で地域防災力の向上に取り組んでいる。



社長が雲仙市消防団長を勤める消防出初式の様子
(雲仙市小浜町)

DATA

所在地	長崎県雲仙市
業種	自動車整備・販売業
従業員	24人
うち団員	6人
雲仙市消防団	6人(うち女性0人)

消防団活動に積極的に協力し、 地域の安全・安心な街づくりに貢献する

長崎県
宅島建設株式会社

当社は、地域社会への貢献を企業理念としており、地域住民の安心・安全を守る消防団の重要性を深く理解し、消防団の活動を積極的に支援している。

火災をはじめ災害発生時の出動に消防団員として従業員が参加する場合は、勤務中であっても活動に参加できるよう配慮している。また、消防団出初式や訓練など活動の参加についても休暇の申し出には優先して認めており、会社全体で協力している。



従業員が出動した消防出初式放水演習の様子
(雲仙市小浜町)

DATA

所在地	長崎県雲仙市
業種	総合建設業
従業員	87人
うち団員	9人
雲仙市消防団	7人(うち女性0人)
諫早市消防団	1人(うち女性0人)
島原市消防団	1人(うち女性0人)

消防団活動を支援し、 消防団と共に地域防災活動に取り組む

長崎県
大坪建設株式会社

当社の理念である「地域への貢献」の一つとして、消防団活動を支援しており、消防団員の就業時間中の緊急出動あるいは消防出初式や合同訓練などの消防団行事については、通常勤務とし、気兼ねなく積極的に参加できるよう配慮している。

また、当社は地域に根差した企業として、国・地方公共団体との防災協定を締結しており、今後も消防団と共に防災活動に取り組み、地域防災の向上に貢献したい。



消防署職員及び消防団員の指導により、普通救命講習を定期的 to 実施し、緊急時に備えている



DATA

所在地	長崎県平戸市
業種	建設業
従業員	63人
うち団員	6人
平戸市消防団	6人(うち女性0人)

地域の安全と安心に貢献します

宮崎県
一般社団法人 宮崎県治山林道協会

「宮崎市消防団協力事業所表示制度(平成21年11月施行)」認定事業所であり、火災や捜索等の災害時には職場からも出動できる態勢を整えている。

また、災害時のみならず、訓練等様々な消防団行事等にも理解があり、可能な限り職員(消防団員)を参加させるなど、職員が安心して消防団活動に従事できる環境づくりに取り組んでいる。

これからも地域の安全と安心のために、会社全体で貢献していく。



一般社団法人宮崎県治山林道協会職員(消防団員)によるチェーンソー取扱い訓練



DATA

所在地	宮崎県宮崎市
業種	その他
従業員	41人
うち団員	5人
宮崎市消防団	5人(うち女性0人)

【編】 消防庁 国民保護・防災部 防災課 地域防災室

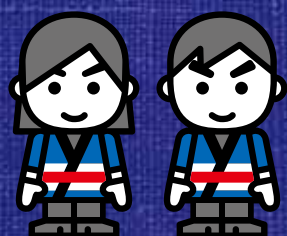
〒100-8927 東京都千代田区霞が関2丁目1番2号

電 話 03-5253-5111(代表)

03-5253-7561(直通)

ファックス 03-5253-7576

ホームページ <http://www.fdma.go.jp/>



消防庁